



2025年度学生満足度／実態調査 実施報告

2025年11月4日

学務部学生課

IRプロジェクトチーム(総合企画部経営企画課・学長室)

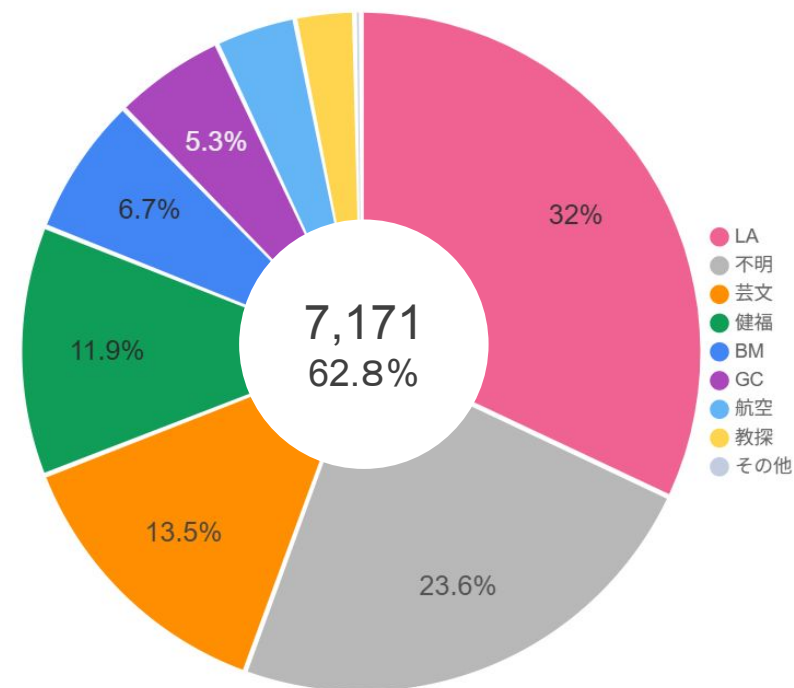
調査項目の概要

- 【休退学】を検討したことがあるか、またその理由
- 【進路支援】に関する満足度および要望
- 【学生支援】に関する満足度および要望
- 【学修支援】に関する満足度および要望
- 【キャンパス内の施設・設備】に関する満足度および要望
- 【情報環境に関する支援やシステム】に関する満足度および要望
- 【留学支援・国際交流】に関する満足度および要望
- 【学生生活】の実態
- 【入試】に関すること

実施概要と結果

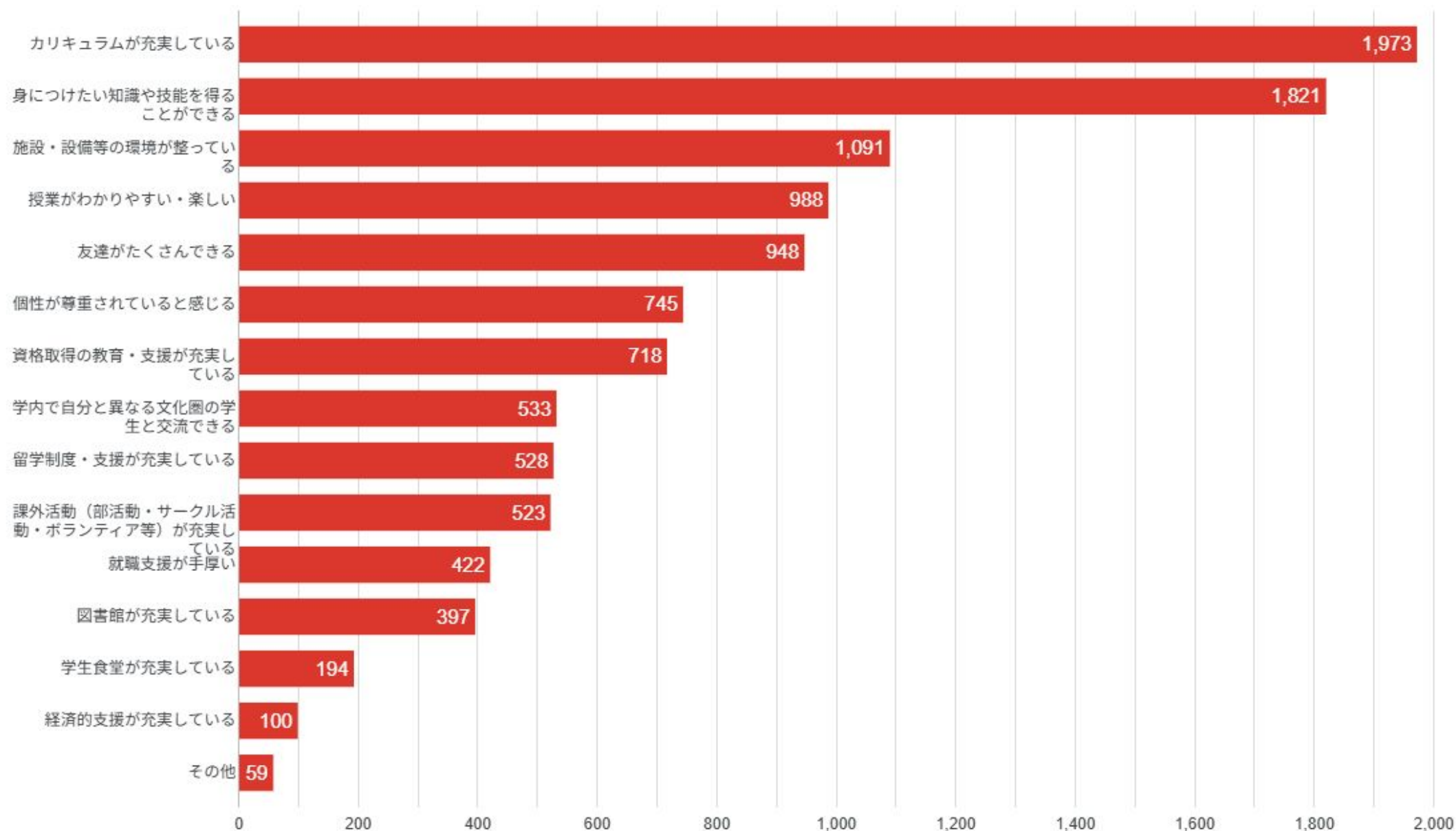
- 調査時期:2025年4月1日～2025年5月30日
- 対象学生:大学院・科目等履修を含む全学生(11,404名／2025年6月6日時点)
- 調査方法:実施期間中に回答を案内。Google Formにて回答(PC、スマートフォン経由)。
- 回答者数:7,171件 回答率62.8%

所属	1年生	2年生	3年生	4年生	総計
LA	575	580	574	567	2,296
芸文	246	263	237	224	970
BM	234	53	89	103	479
健福	245	226	207	177	855
GC	142	43	103	94	382
航空	67	95	67	47	276
教探	84	58	60		202
大学院	5	5			10
科目等履修等	2	2	4	4	12
不明※	1,281	169	131	108	1,689
総計	2,881	1,494	1,472	1,324	7,171

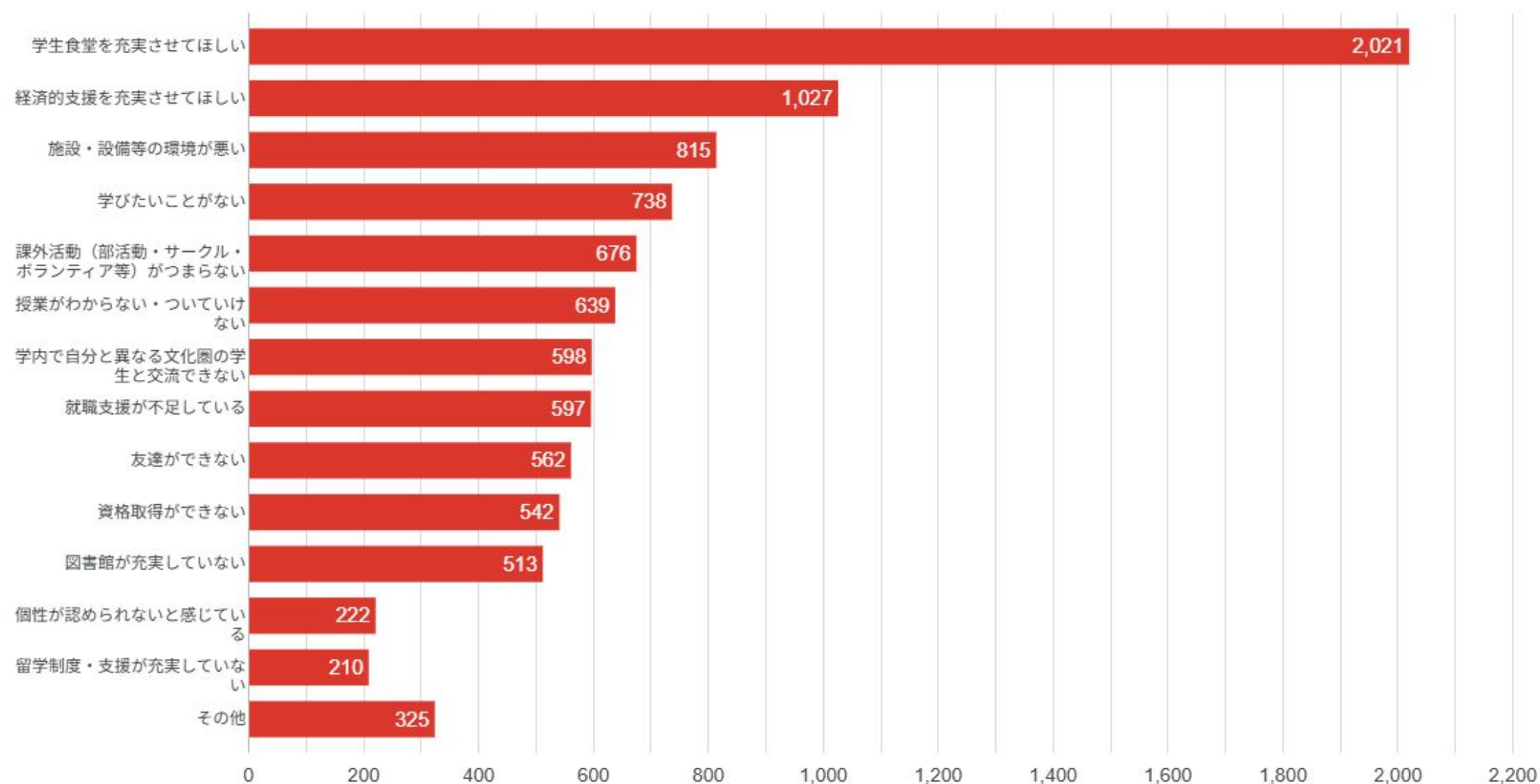


※不明:調査初期に所属組織を取得できなかった学生

桜美林大学の学生生活において魅力的に感じている点(上位3つまで)を選択してください。

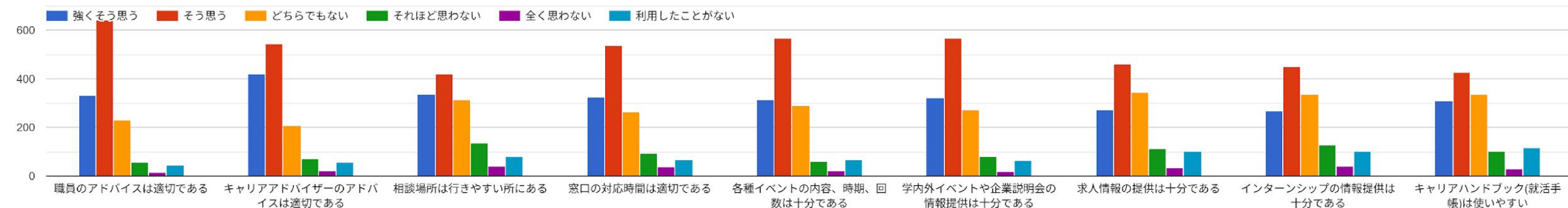


桜美林大学の学生生活において不満に感じている点(上位3つまで)を選択してください。



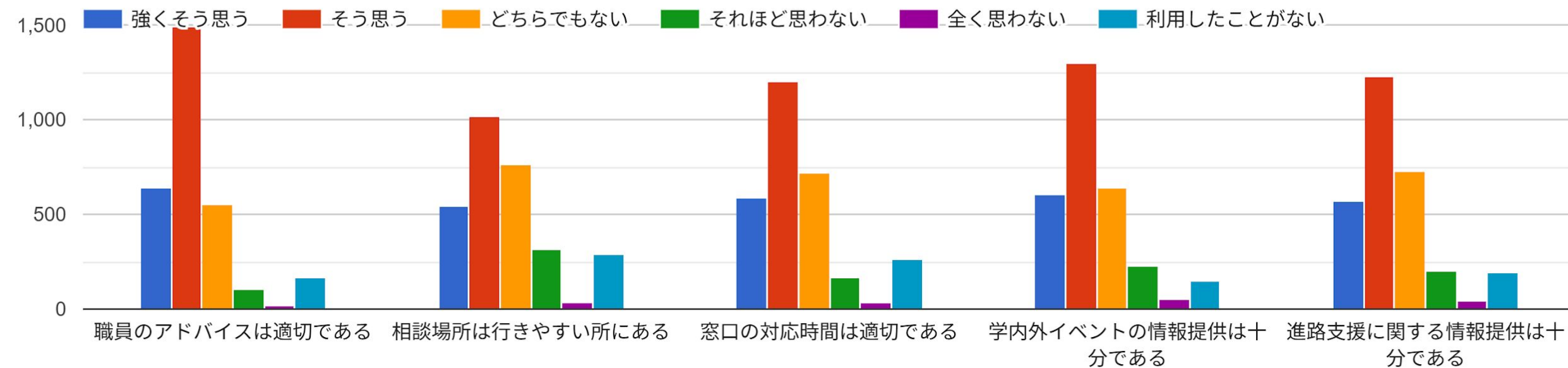
進路支援(4年)

以下にあげる各項目について、あなたの評価・印象に近いものを回答してください。

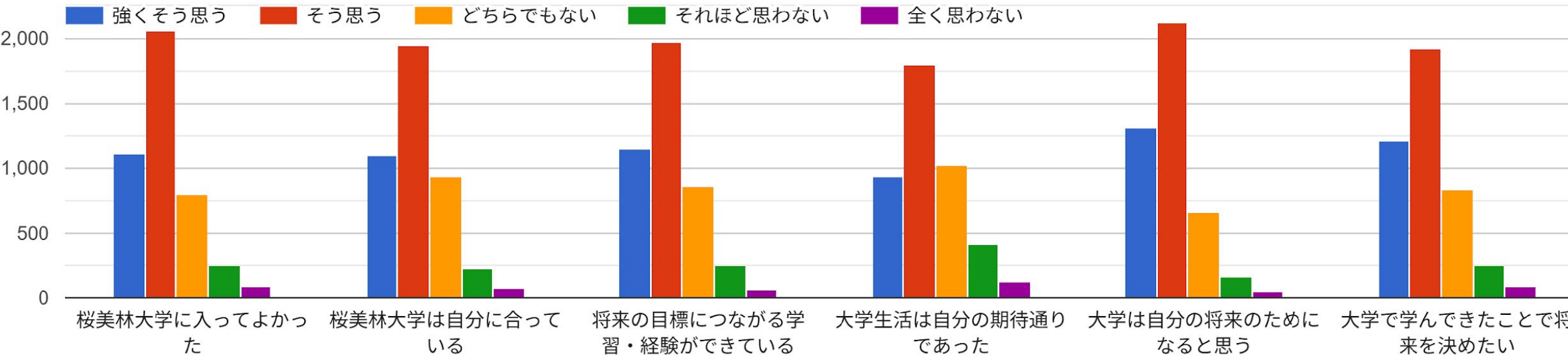


進路支援(2-3年)

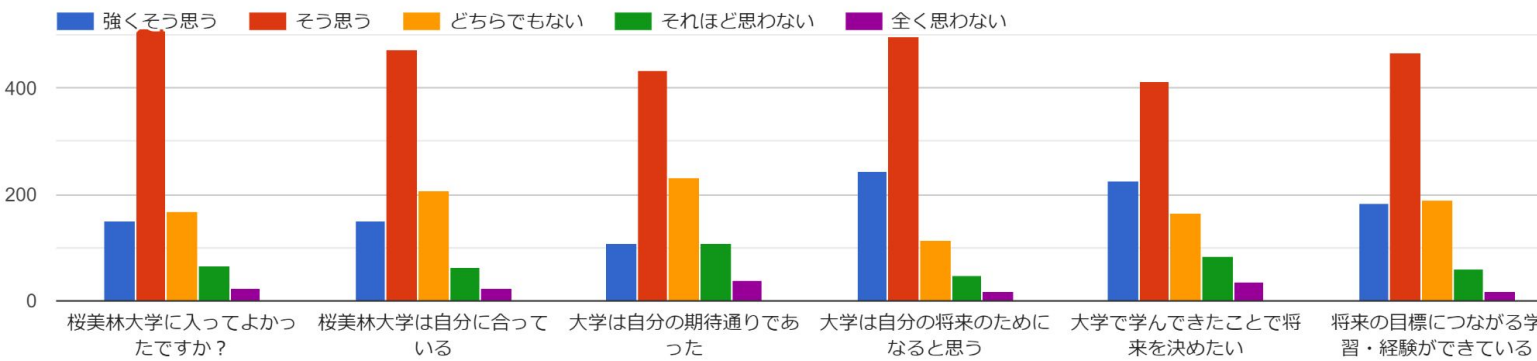
以下にあげる各項目について、あなたの評価・印象に近いものを回答してください。



授業・学生生活全般を通じて（総合評価）

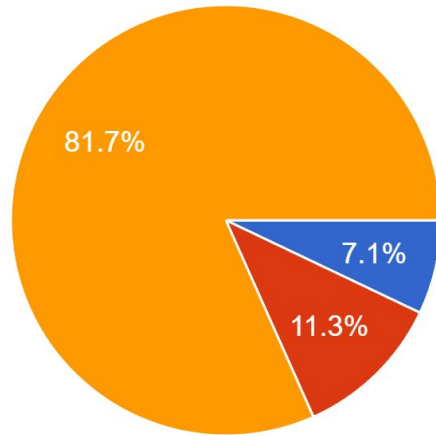


桜美林大学での学生生活について 2024年度



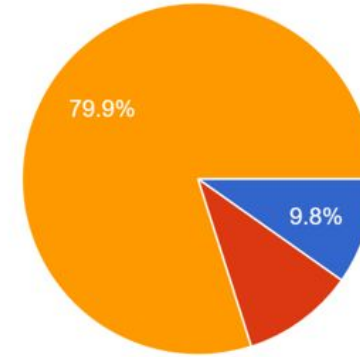
これまで退学や休学を検討したことはありますか？

4,290 件の回答



- 退学を検討したことがある
- 休学を検討したことがある
- 退学・休学を検討したことはない

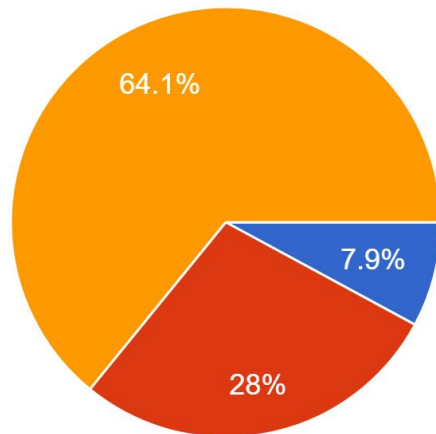
2024年度



- 退学を検討したことがある
- 休学を検討したことがある
- いいえ

現在も退学・休学を検討していますか？また、その場合は教職員との面談・相談を希望しますか？

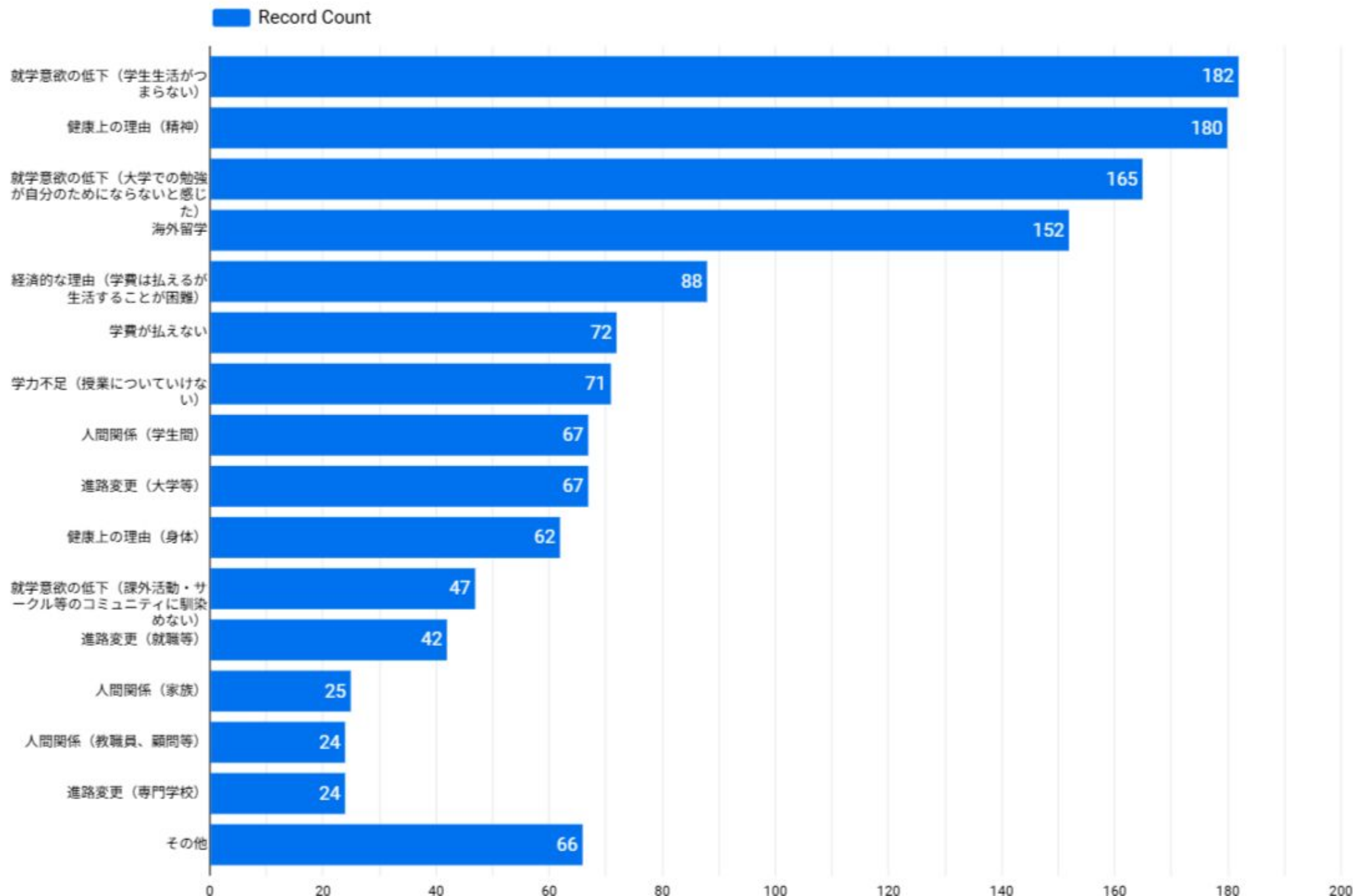
786 件の回答



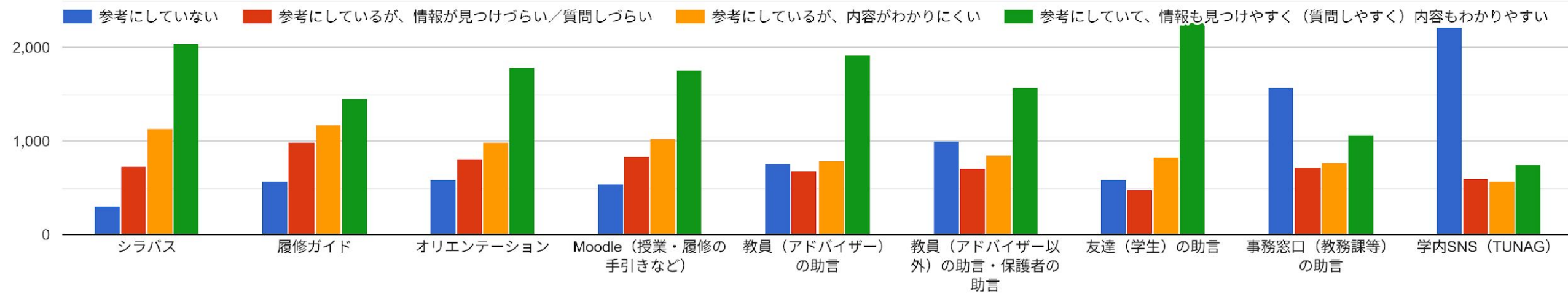
- 現在も退学・休学を検討しており、一度相談をしたい。
- 現在も退学・休学を検討しているが、相談対応は不要。
- 現在は退学・休学を考えていない。

退学・休学を検討するに至った理由を教えてください

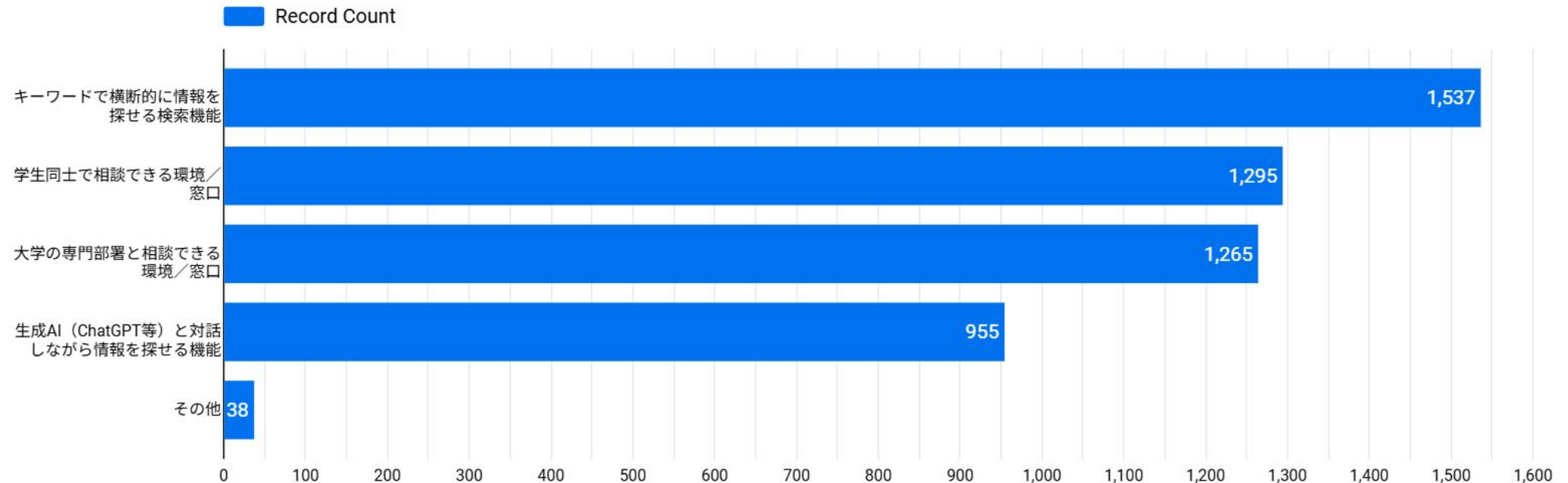
F)



Q1：授業を選択するうえで参考になっているものとそれに対する満足度を教えてください。

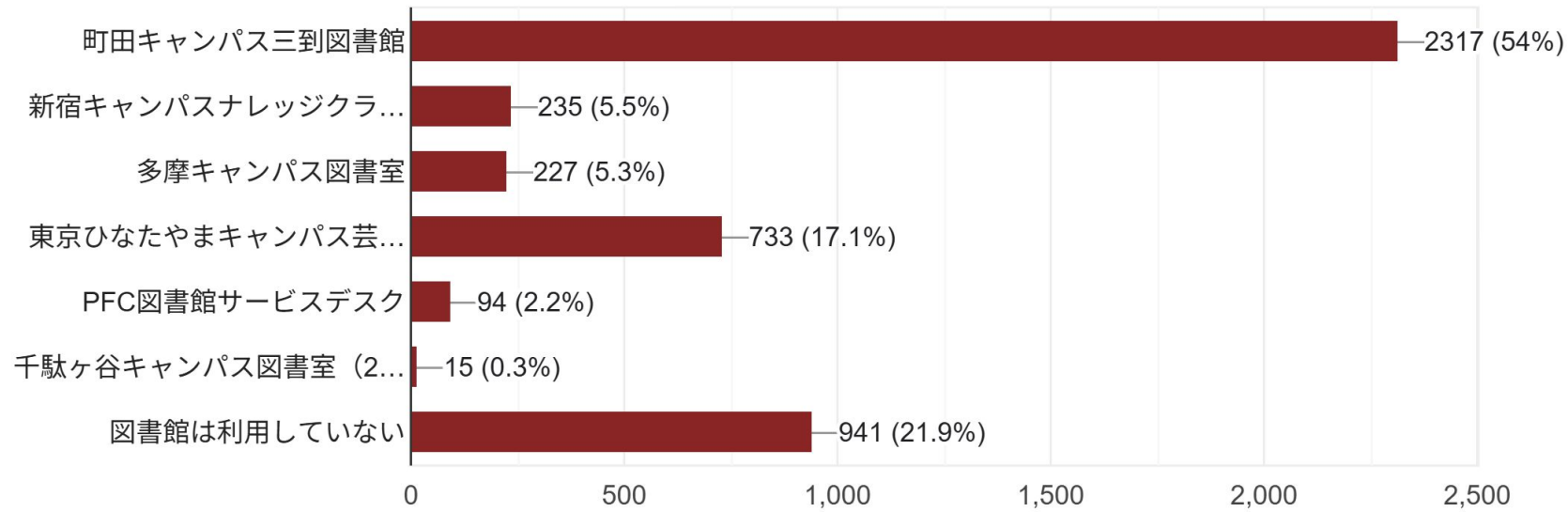


情報を探すうえで「あったらいいな！」というものはありますか？



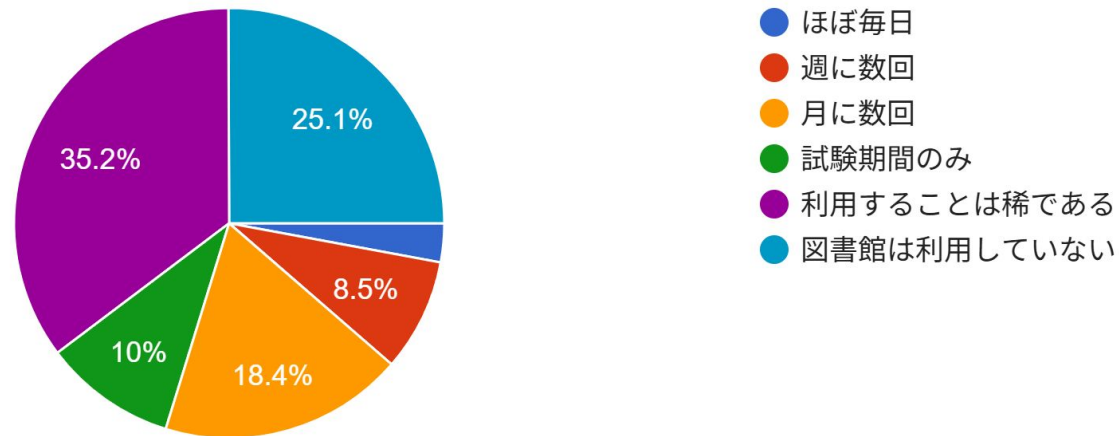
あなたが利用している「図書館」を選択してください。

4,290 件の回答

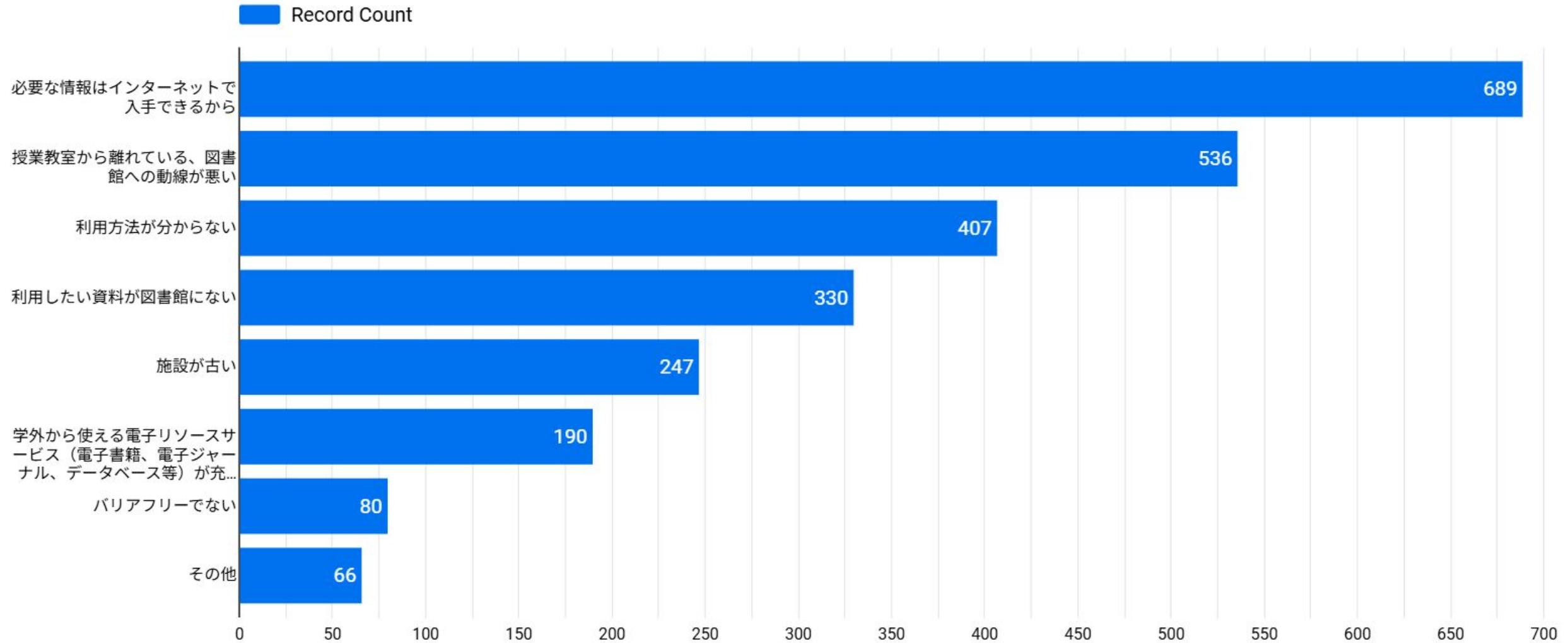


本館利用の頻度を選択してください。

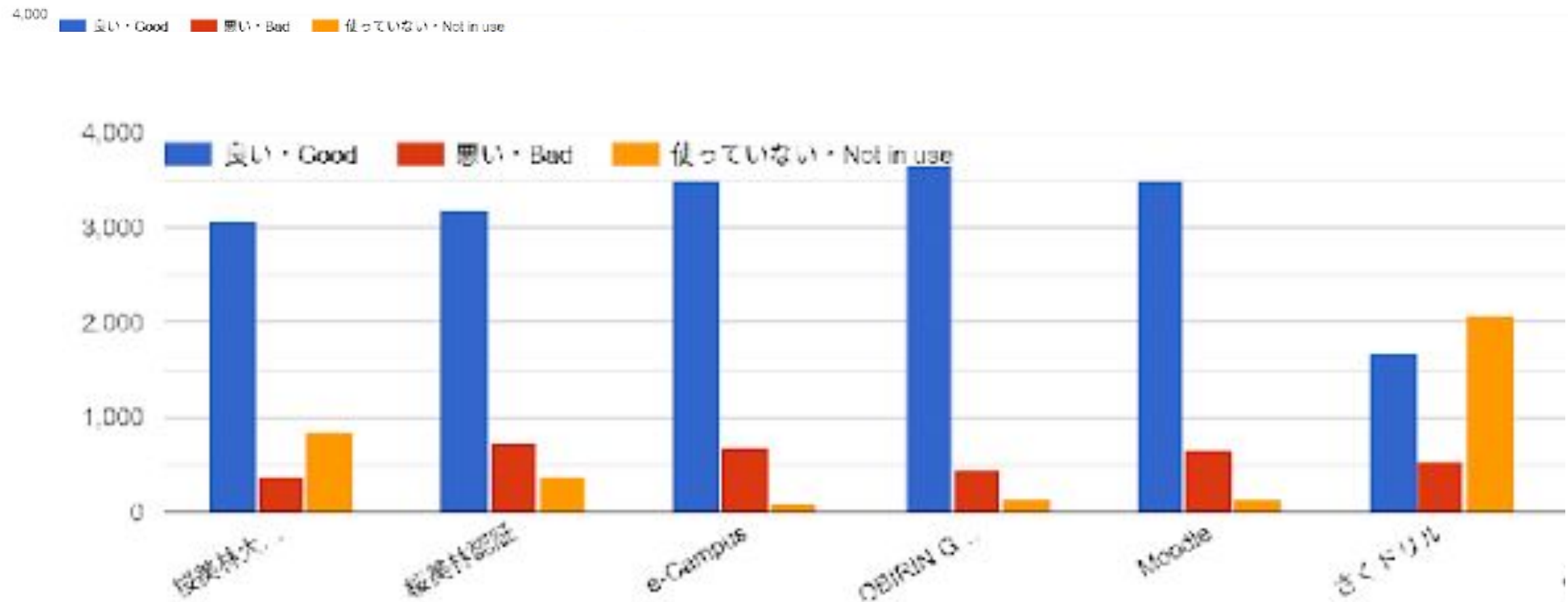
4,290 件の回答



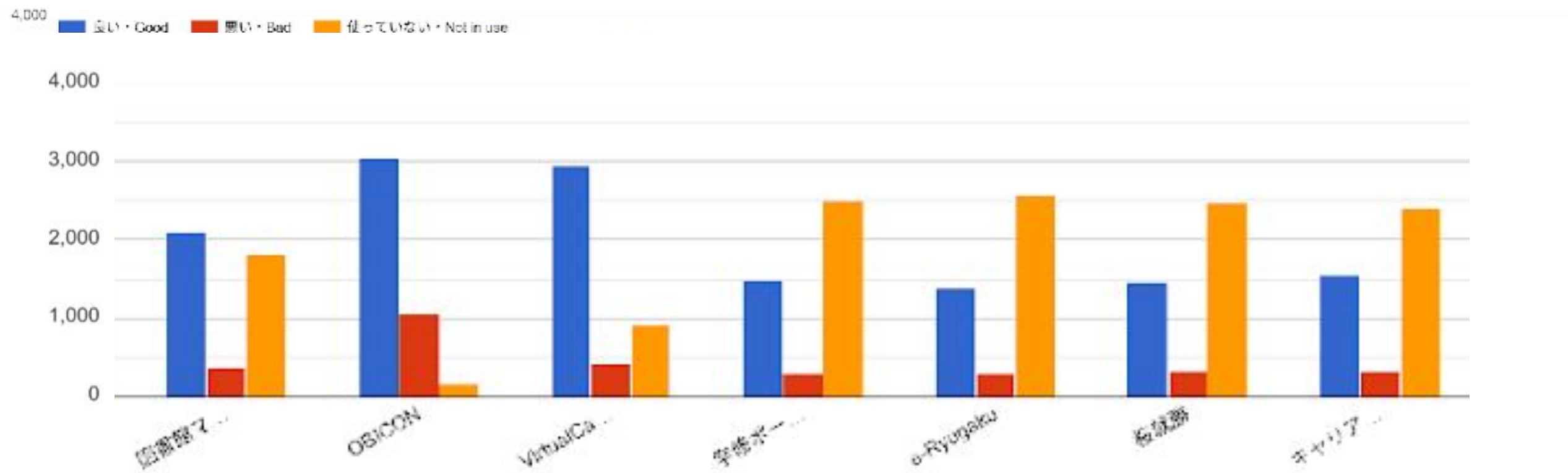
図書館を利用していない方に質問です。その理由として当てはまるものをお選びください。



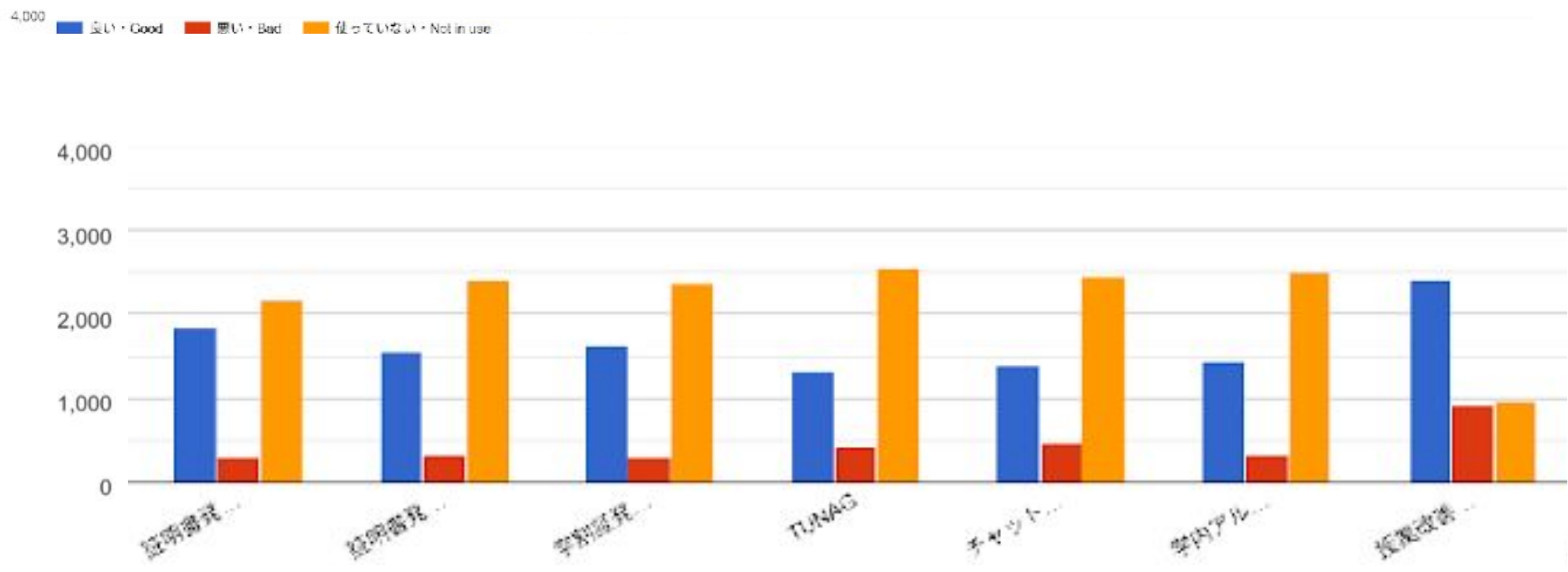
桜美林大学の「情報環境」(システム・設備・サービス)についてお聞きします。以下にあげる各項目の2024年度の状況について、あなたの評価・印象に近いものを回答してください。



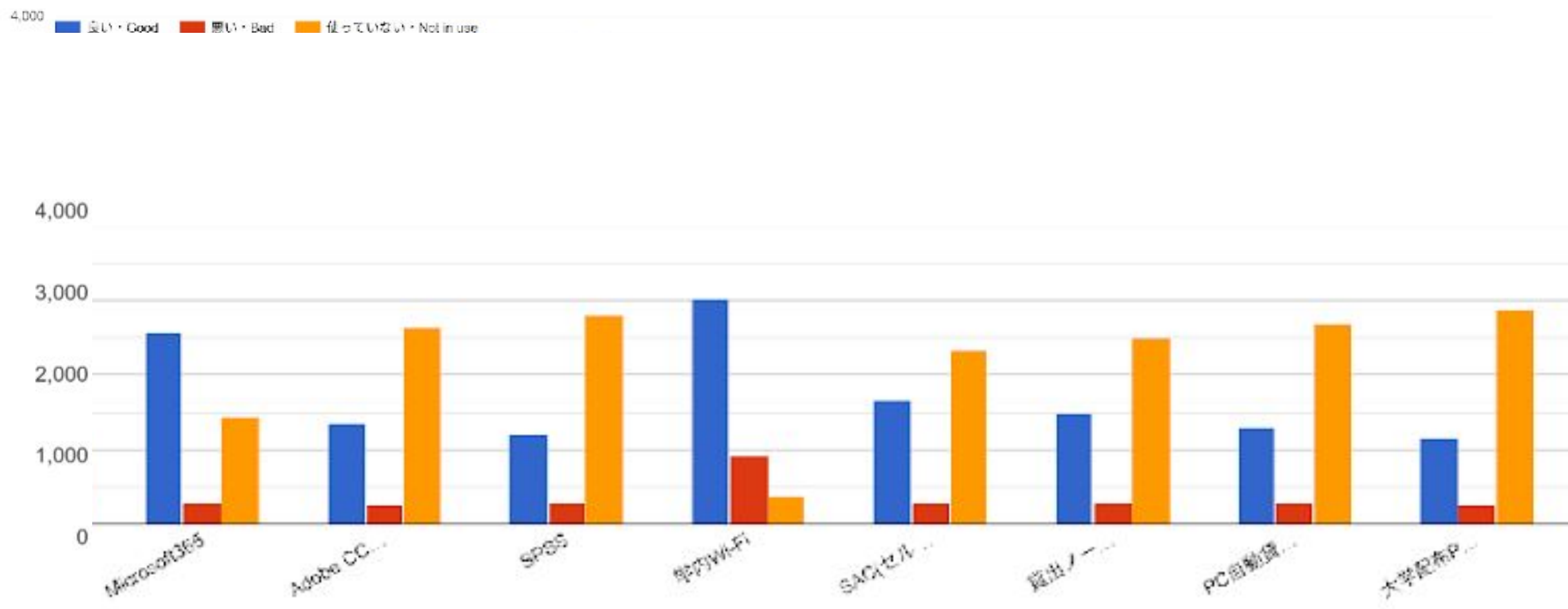
桜美林大学の「情報環境」(システム・設備・サービス)についてお聞きします。以下にあげる各項目の2024年度の状況について、あなたの評価・印象に近いものを回答してください。



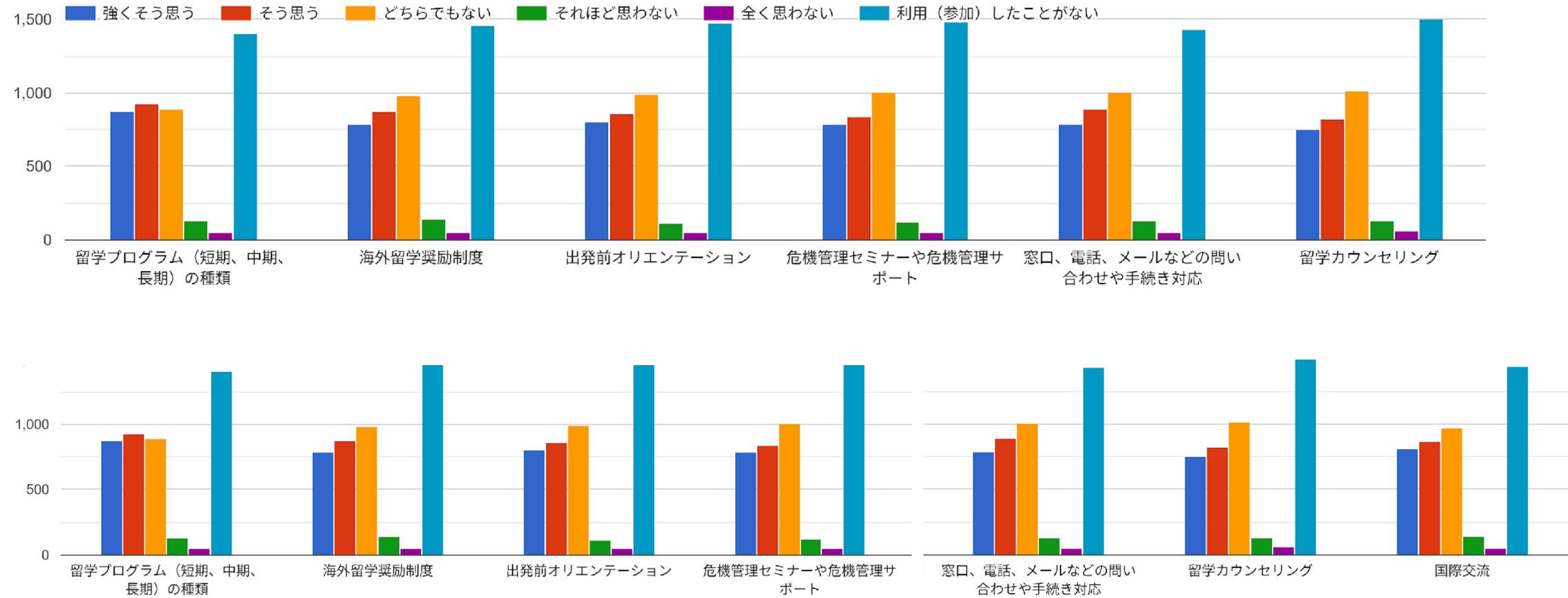
桜美林大学の「情報環境」(システム・設備・サービス)についてお聞きします。以下にあげる各項目の2024年度の状況について、あなたの評価・印象に近いものを回答してください。



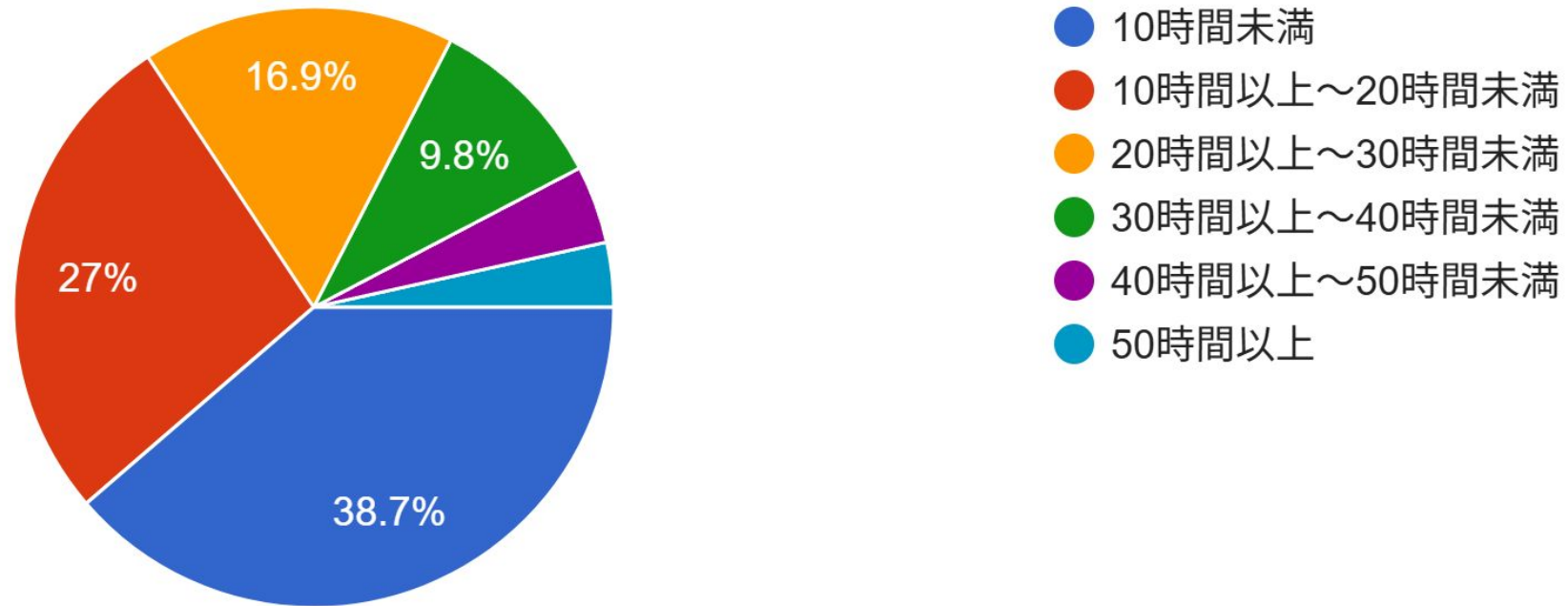
桜美林大学の「情報環境」(システム・設備・サービス)についてお聞きします。以下にあげる各項目の2024年度の状況について、あなたの評価・印象に近いものを回答してください。



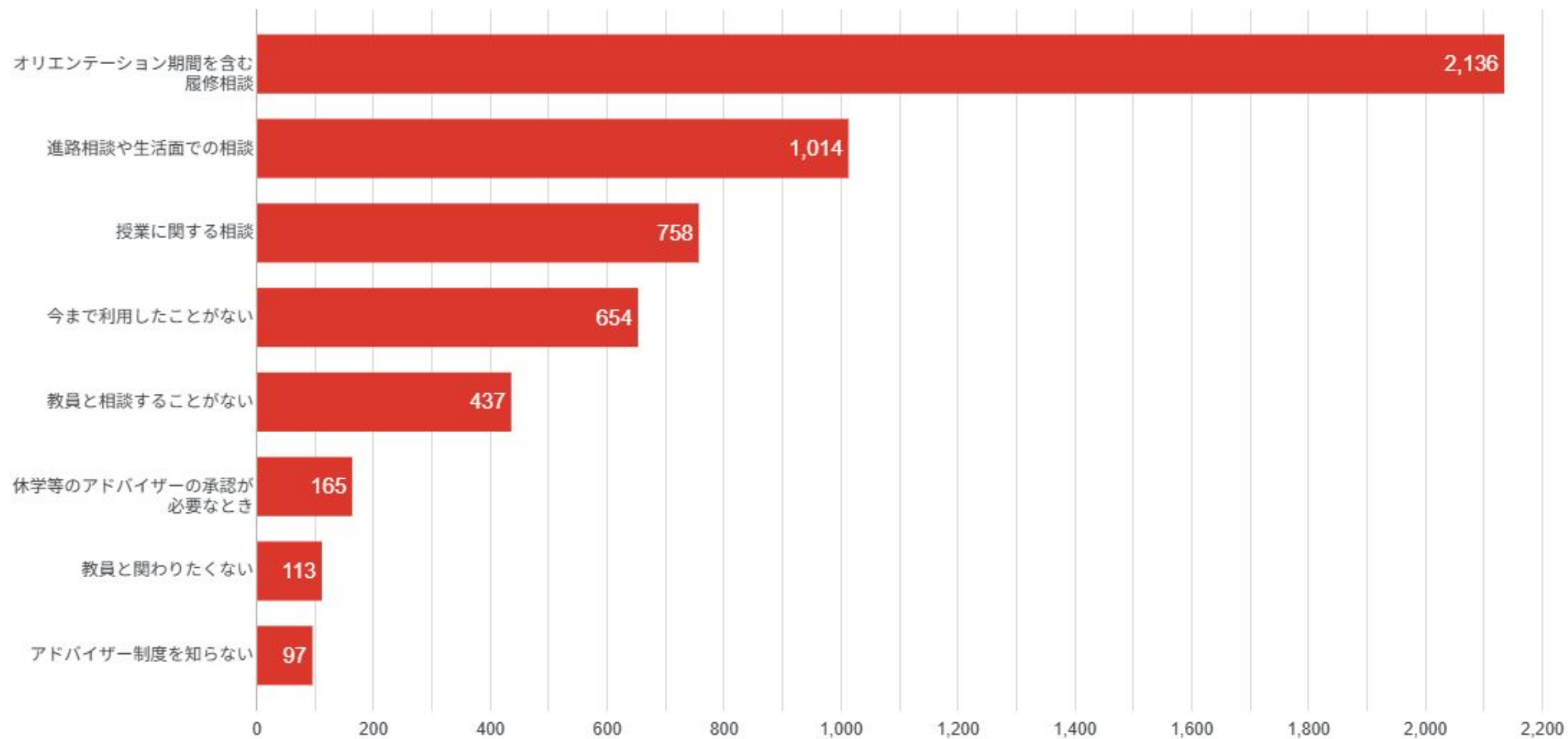
本学の留学支援・国際交流の内容は充実していると思いますか？



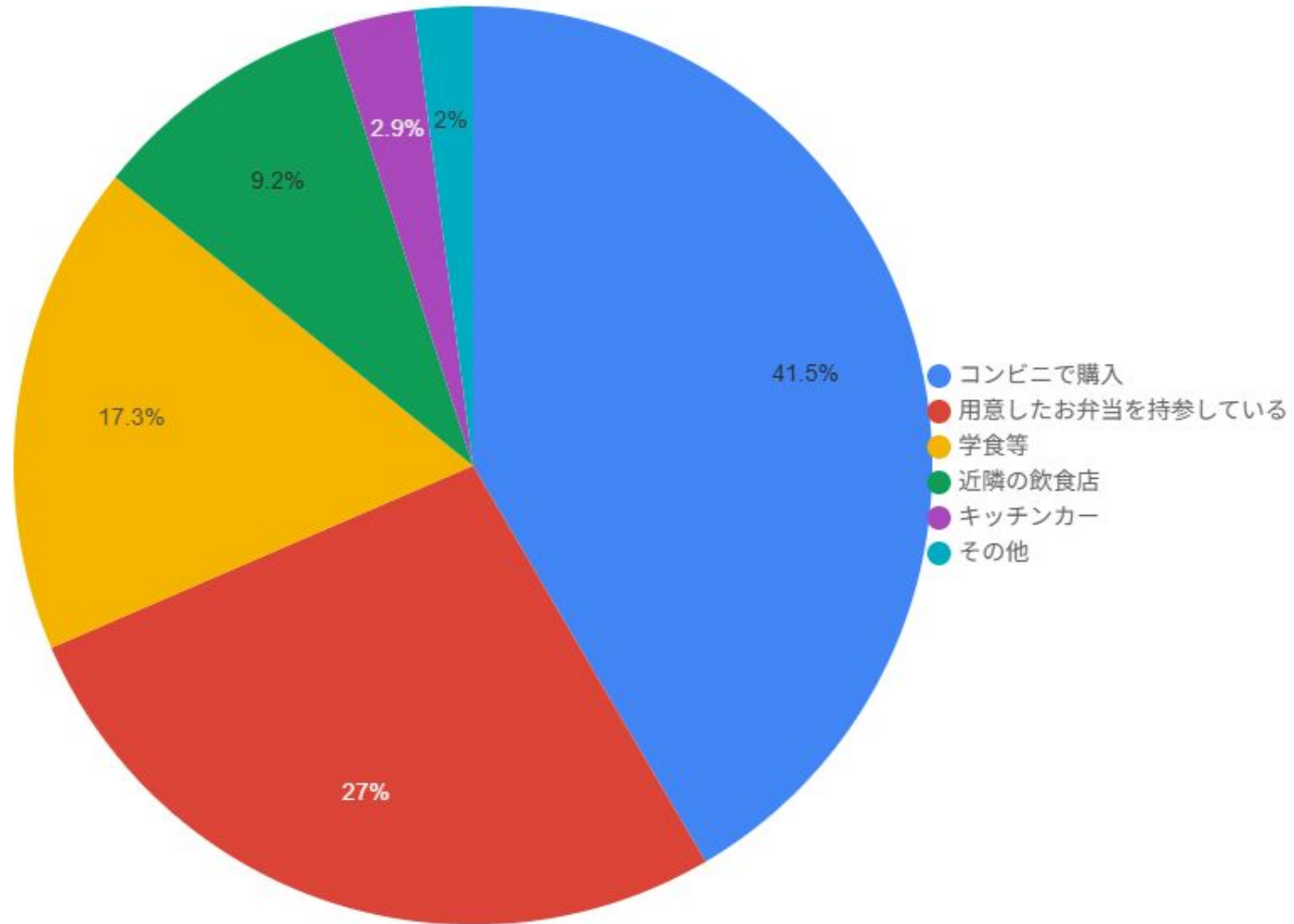
大学には授業・授業外学習時間・課外活動・空き時間を含めて、週平均何時間程度いますか
4,108 件の回答



アドバイザー制度はどのような時に活用していますか。あてはまるものを選択してください。

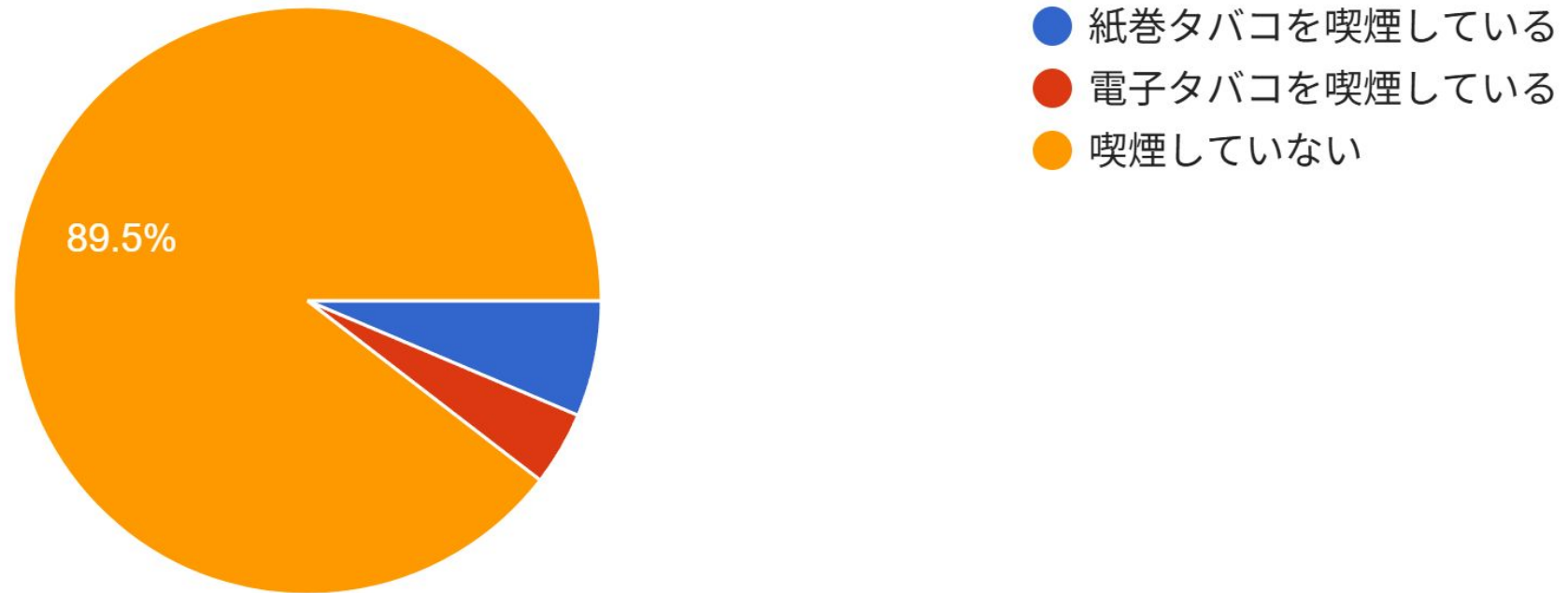


授業期間中の昼食はどこから購入することが多いですか。(3,916件の回答)

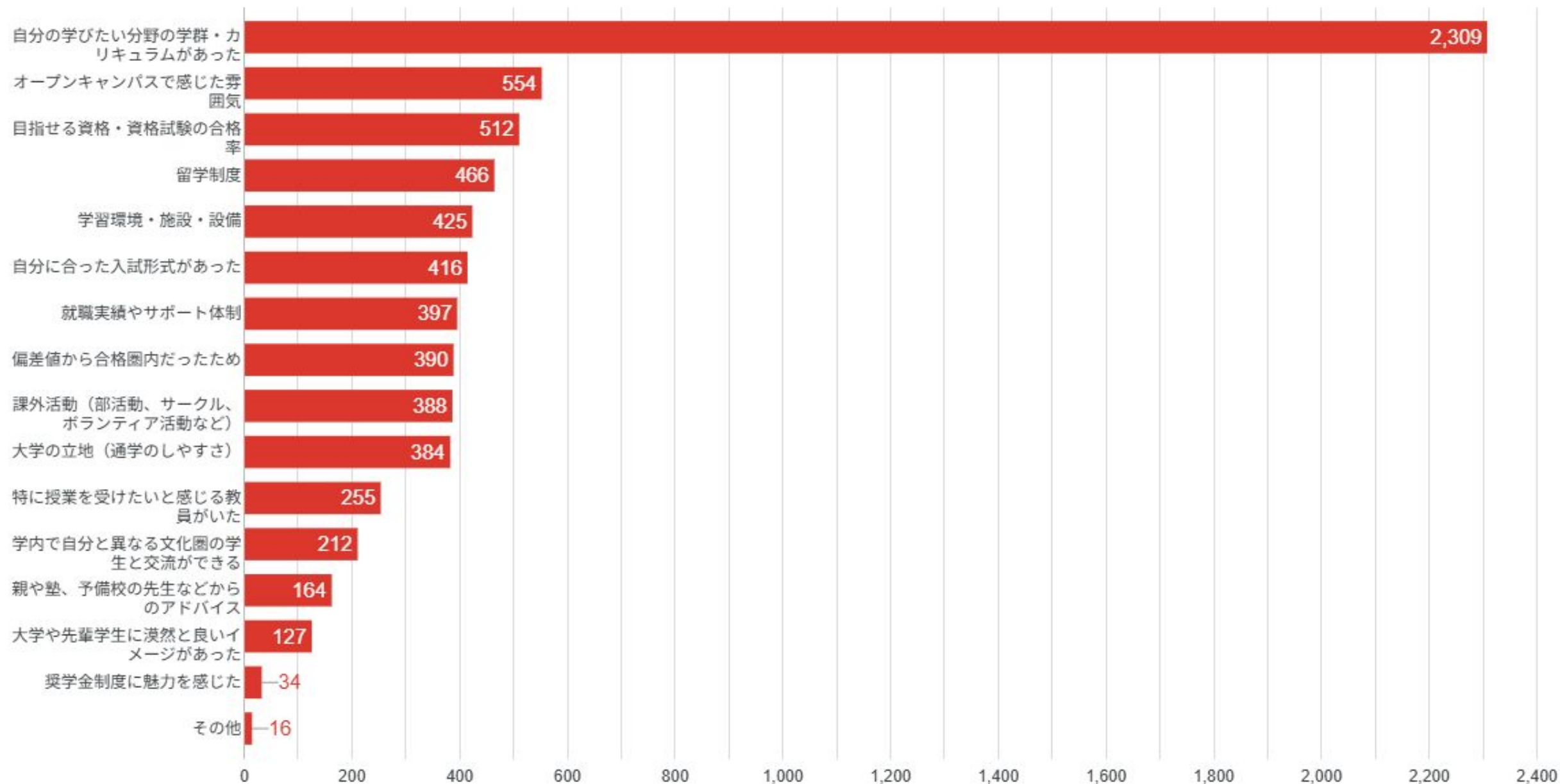


あなたは煙草（たばこ）を吸いますか？

3,903 件の回答

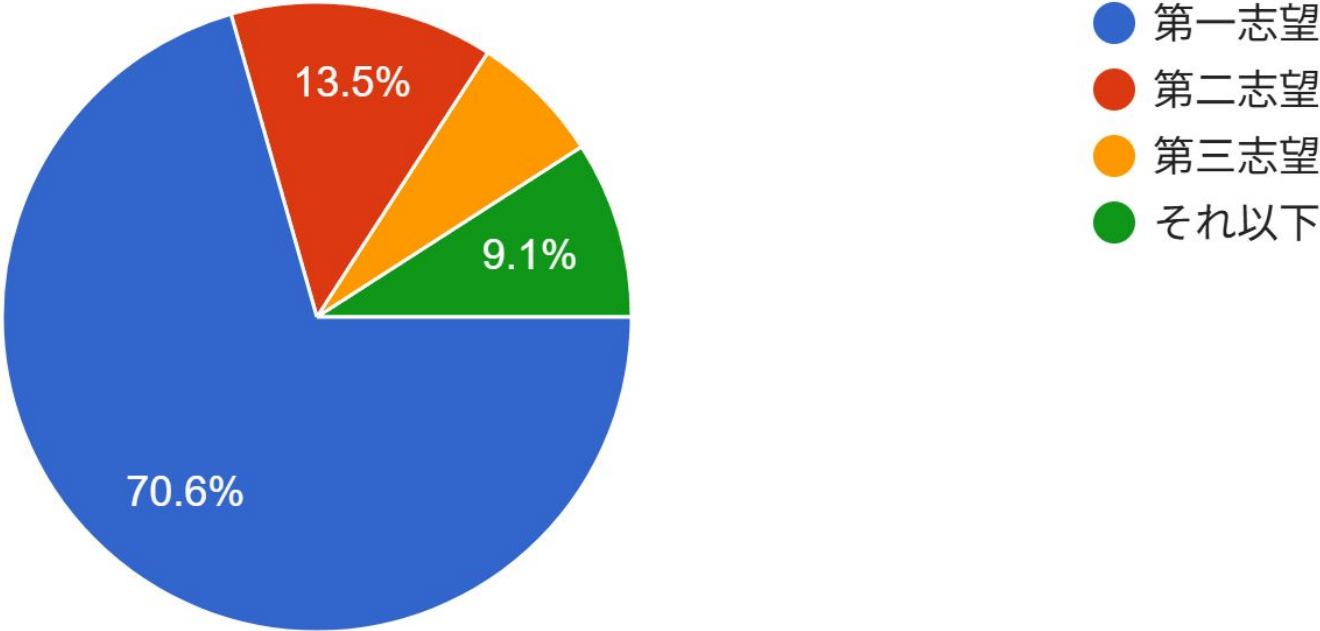


大学選びで最も重要視したこと（上位3つまで）を選択してください

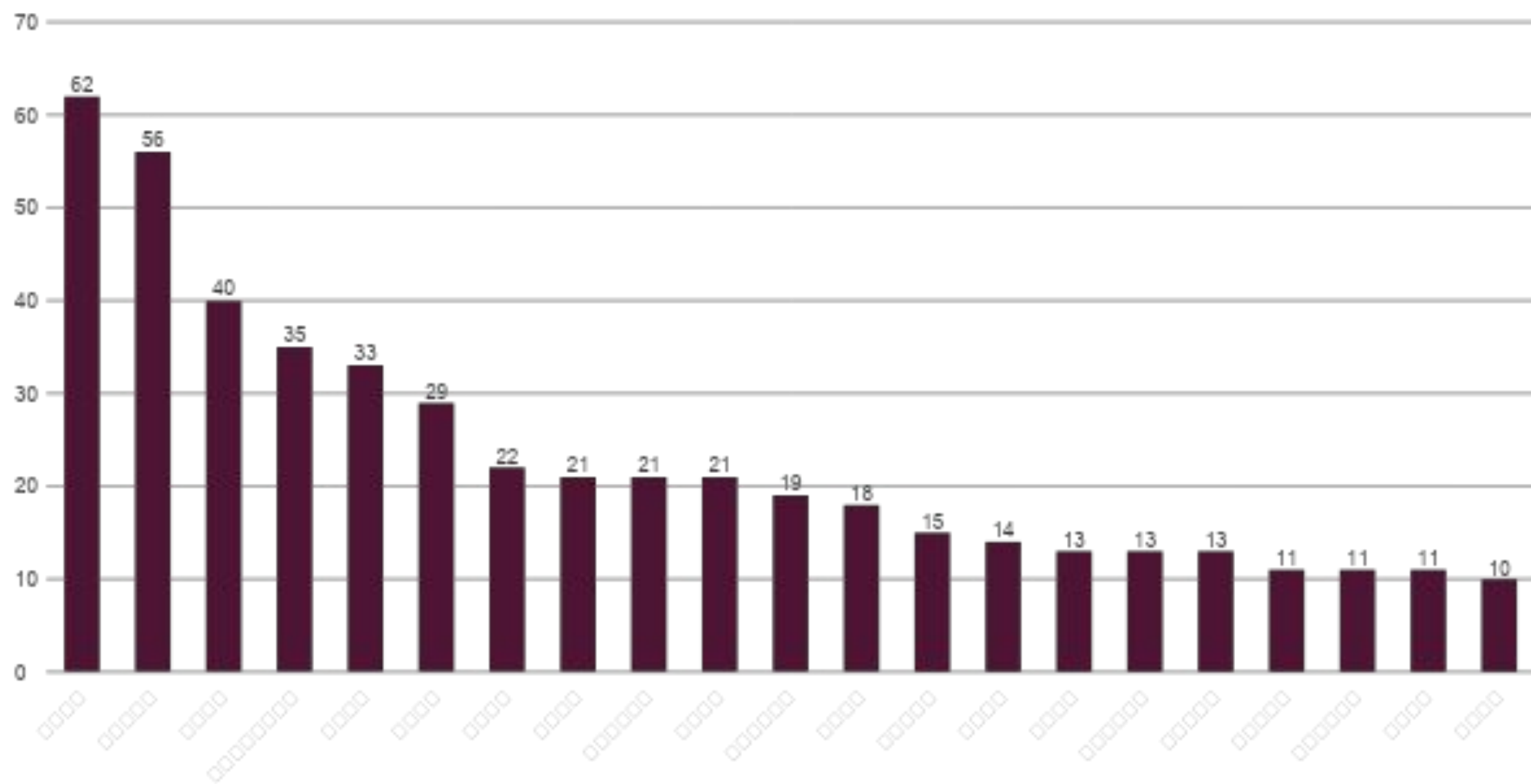


桜美林大学の志望順位を教えてください

2,881 件の回答

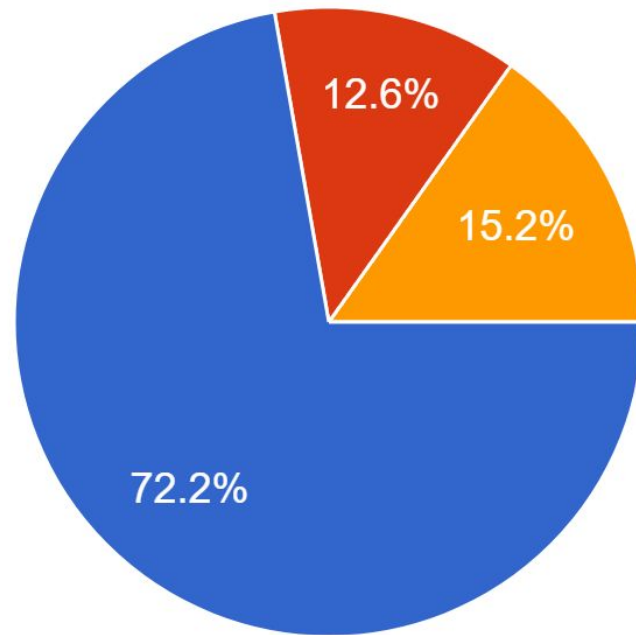


2025 20 753



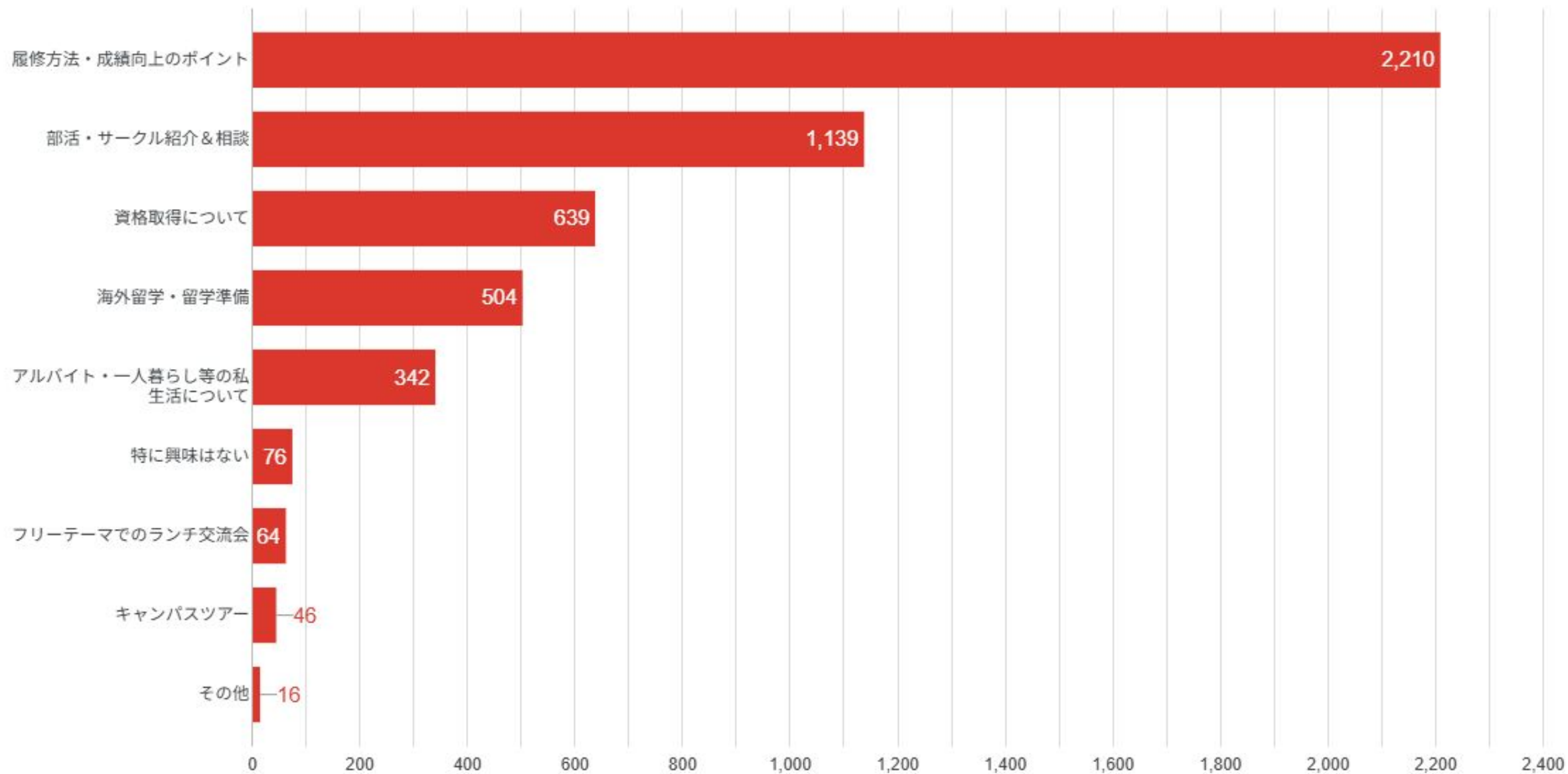
入学式の実施会場について

2,881 件の回答



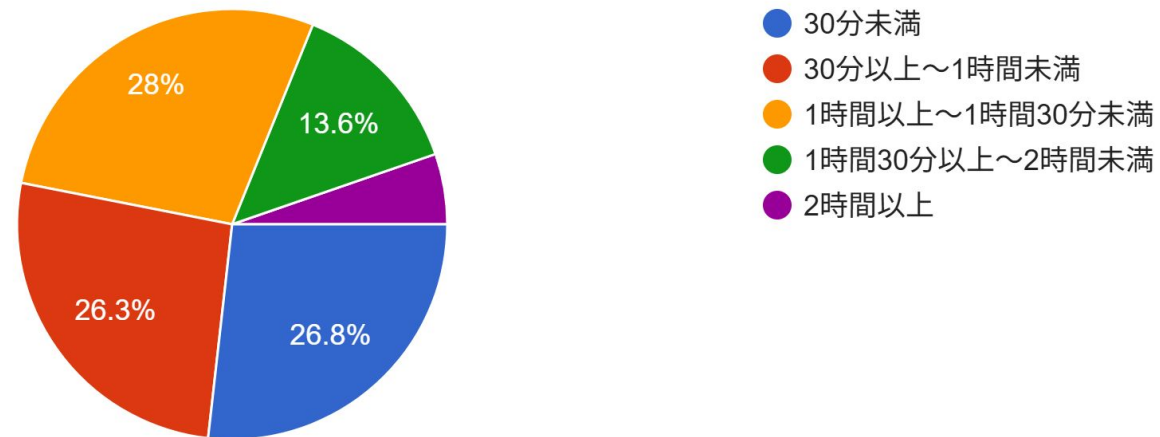
- 東京ガーデンシアターのような大会場で入学式が盛大に行われるのは嬉しい
- 近隣の中規模ホール等で学生のみが参加できる形式でもよい
- 所属キャンパスの体育館やホールなどで学群別に小さく行われる方が嬉しい

先輩学生からどのようなアドバイスをもらいたいですか

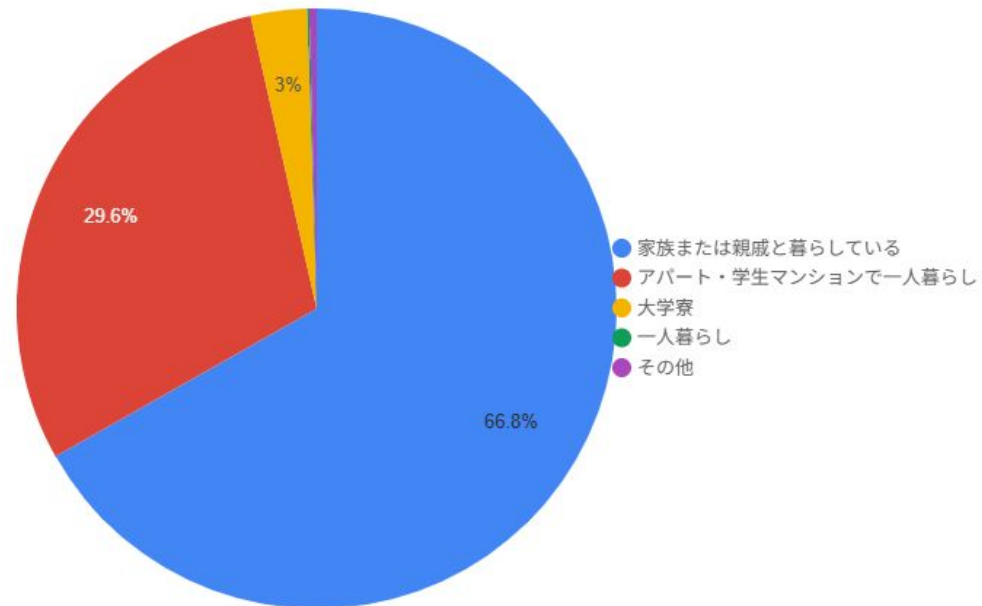


片道の通学時間はどれくらいですか

6,880 件の回答

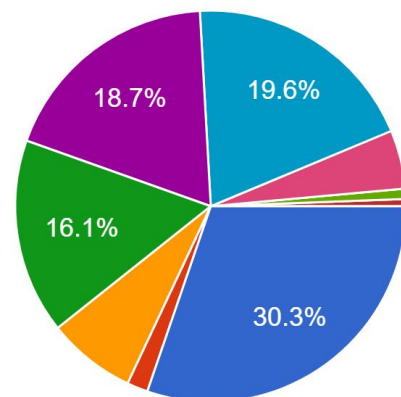


あなたの現在の居住形態は次のうちどれですか（6,799件の回答）



一カ月あたりのアルバイトの平均収入はどれくらいですか

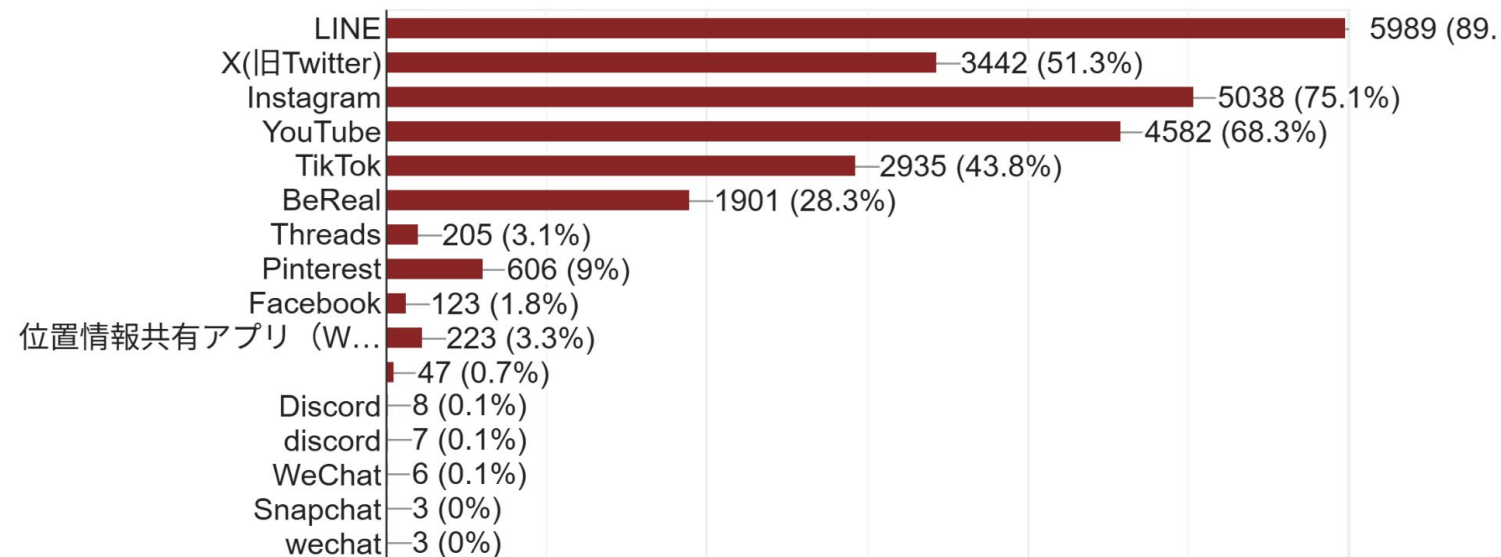
6,708 件の回答



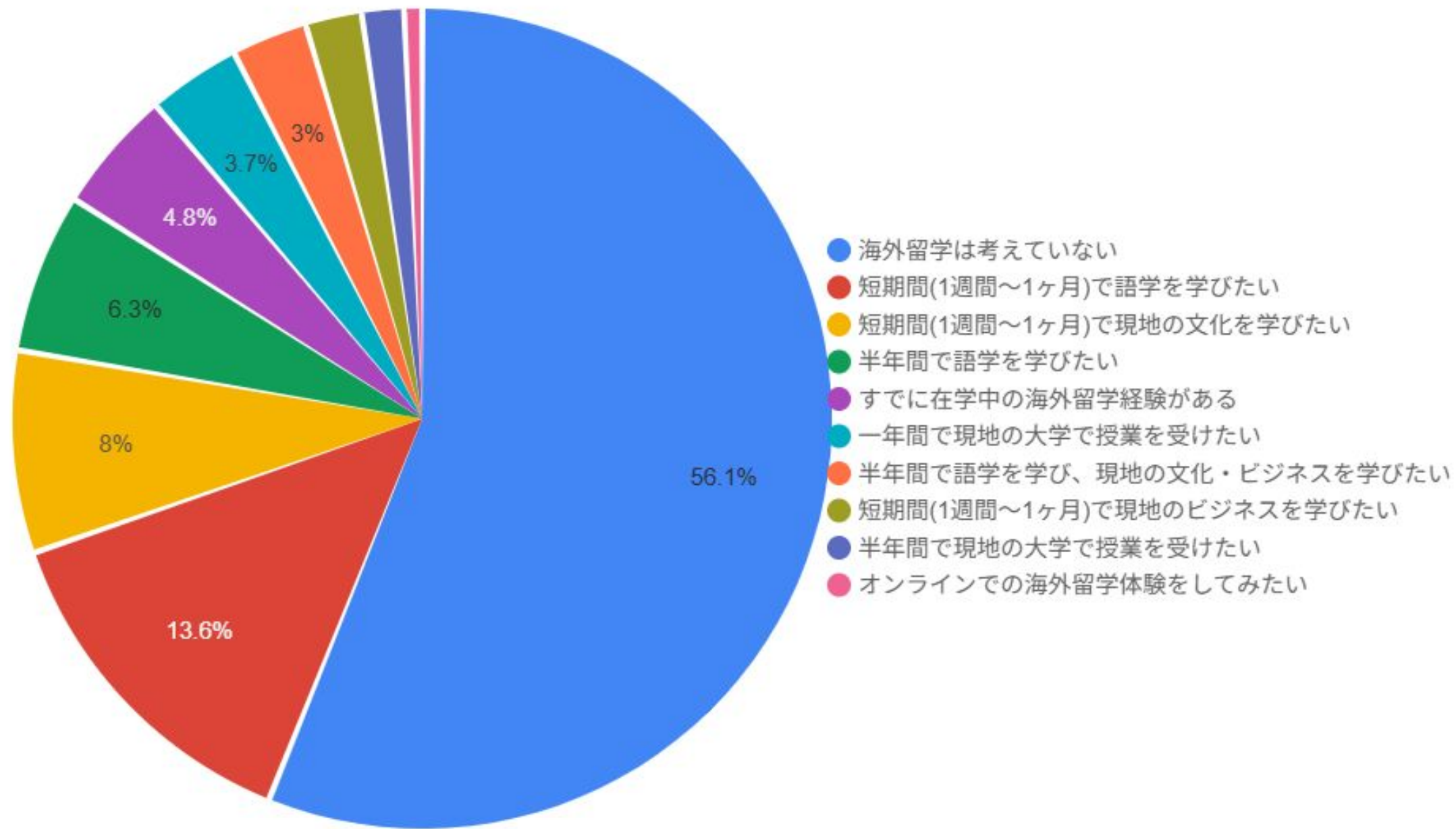
- アルバイトをしていない
- 1万円未満
- 1万円以上3万円未満
- 3万円以上5万円未満
- 5万円以上7万円未満
- 7万円以上10万円未満
- 10万円以上15万円未満
- 15万円以上20万円未満
- 20万円以上

よく使用するSNSは次のうちどれですか

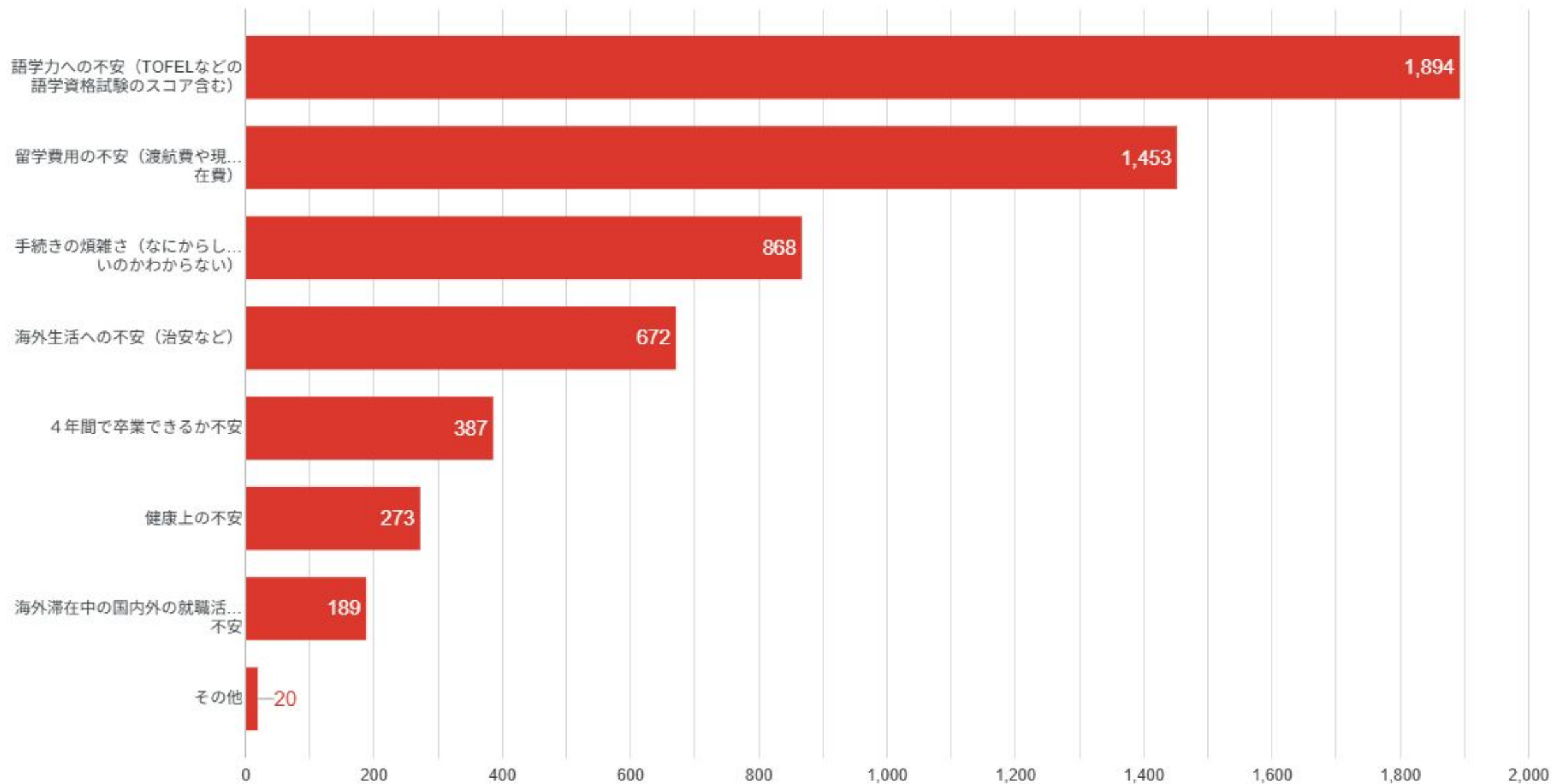
6,707 件の回答



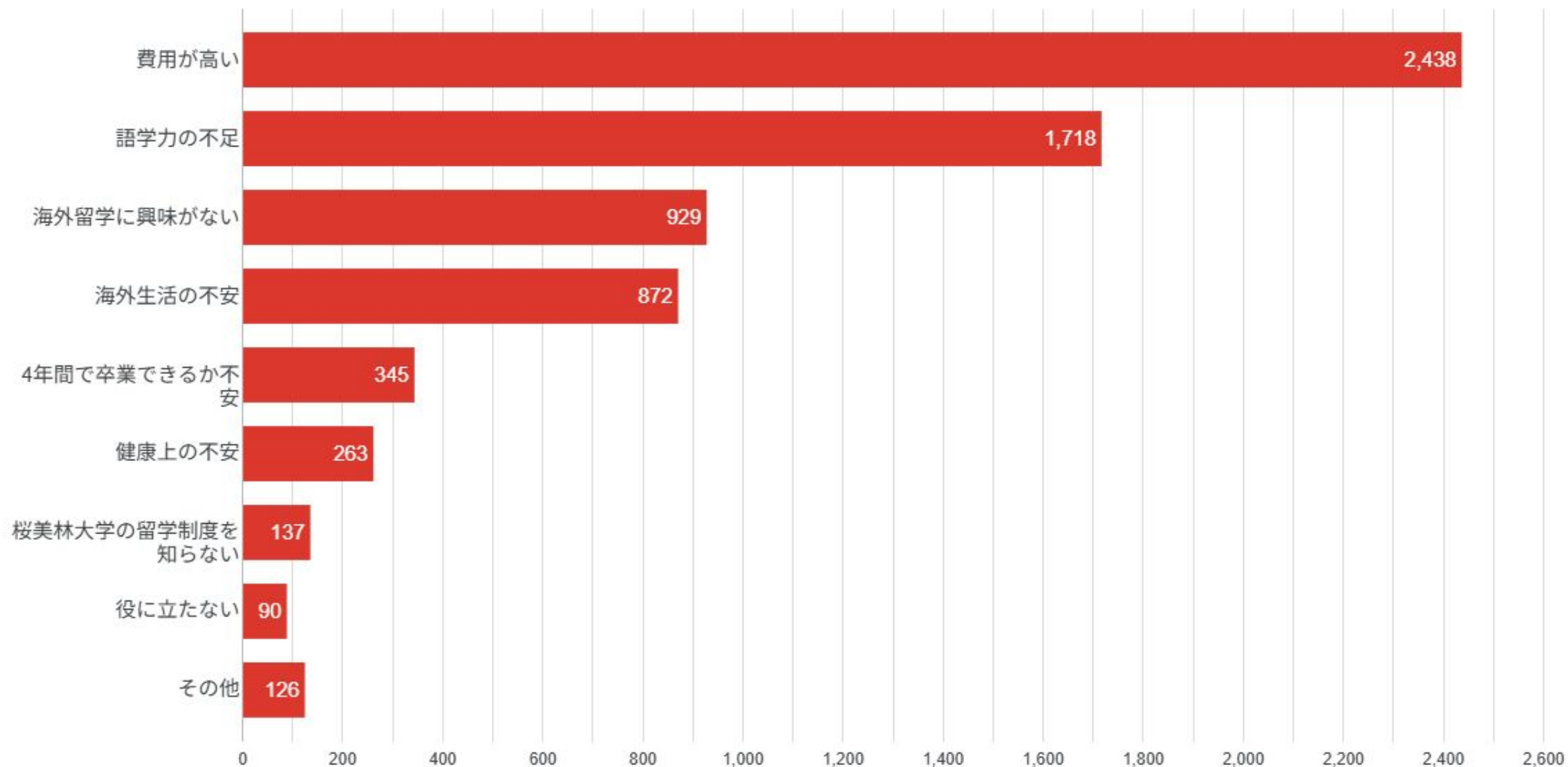
■ 在学中に海外留学を考えていますか。(7,171件の回答)



留学を考えている時に不安に思うことはありますか。とくにあてはまるものを（上位3つまで）選択してください。

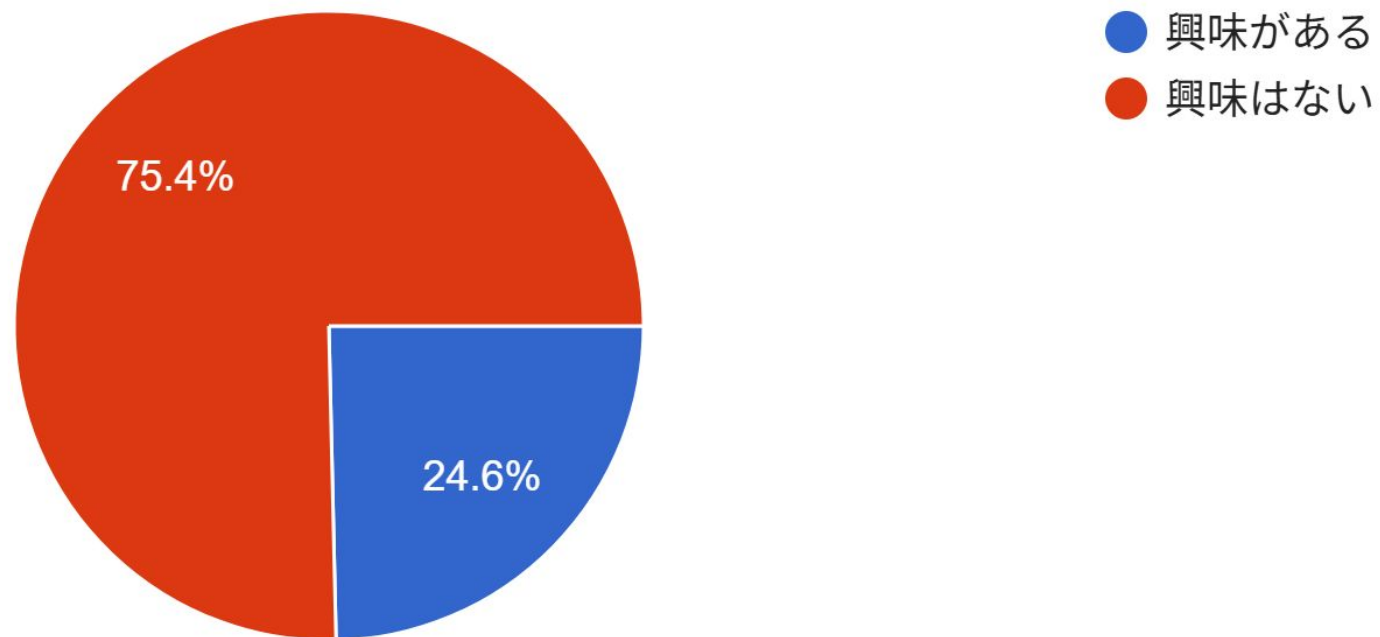


海外留学を考えていない理由はなんですか。とくにあてはまるもの（上位3つまで）を選択してください。

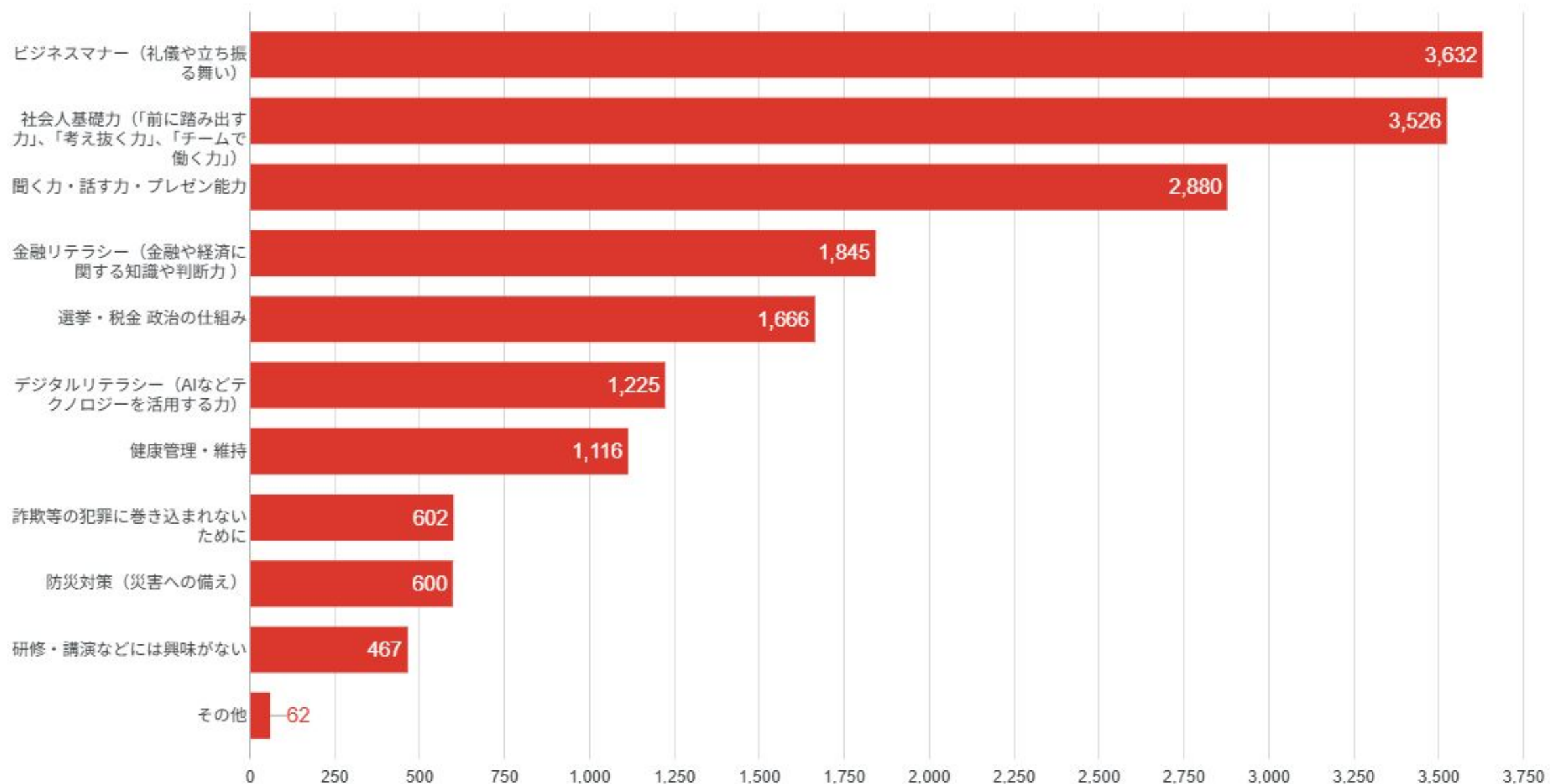


国内留学には興味がありますか？

4,023 件の回答



実際に行われた場合、参加したいと思える研修・講演を選択してください。





記述回答 (各部署に寄せられた意見)

学生課向けの意見 / 回答①

学生課に寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	学生課回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
空き教室利用・施設運用の不明確さ	空き教室の使用ルールが曖昧で注意を受けたとの体験談。	約2件	空き教室の利用についてご意見をいただきましてありがとうございます。 現在、授業等が行われないいわゆる「空き教室」の利用については、事前申請を行わない限り学生のみで利用することができなくなっております。 なお、課外活動における施設借用の方法も煩雑となっており、これについてはより学生がスムーズに施設を借用できるよう申請手順の見直しを行なっております。	
学費支払い制度のわかりづらさ・不満	延納・分納制度の情報不足、4年生の学費に対する疑問など。	約3件	経済的な事情により、奨学金制度や教育ローンをご利用いただいても正規の納入期日までに学納金の納入が困難な場合は、所定の手続きを正規納入期日までに完了することで、学納金の延納または分納が認められます。延納・分納制度の申請方法等の詳細については、各学期のオリエンテーション期間中にe-CampusおよびOBIRIN Gateにてご案内しておりますので、必ずご確認ください。 なお、本学の学納金制度は履修単位数にかかわらず定額の一律納付となっており、4年次に履修単位数が少ない場合であっても減額措置は設けておりません。そのため、卒業要件を満たしている場合でも、ご関心のある科目や将来に役立つ授業など、積極的に履修されることをお勧めいたします。	学生満足度調査への協力ありがとうございました。 経済的支援・奨学金制度の拡充については、日本学生支援機構の奨学金の申請サポート、民間財団奨学金の案内、各種教育ローンを幅広くご案内してゆくとともに、昨年度、今年度と多くの要望をいただいた「学内独自の奨学金制度」について、2027年度在学採用、2028年度予約採用からの適用を目指し、制度・オペレーションの改定を学内に進める予定です。
課外活動・交流機会の増加希望	学群対抗運動会など、キャンパス横断での交流を求める声。	約2件	学群・キャンパスを跨いだ交流について、ご意見をいただきありがとうございます。 今年度、O.A.C.U.に加盟する団体対抗のスポーツイベントを企画しておりますが、学群を跨いだ交流については企画が行われておりません。 学生生活の充実を促進するため、さまざまな企画を進めてまいります。 なお、キャンパスを跨いだ交流という観点では学内専用 SNS「TUNAG」の運用がスタートしております。こちらは学生が自由に情報発信ができる学内唯一の公式オンラインプラットフォームとなりますので、積極的にご利用下さい。 また、毎年10月最終週に行われる「大学祭」は在学生誰でも参加することが可能です。学生間交流のまたとない期間となりますので、是非参加してみてください。 課外活動に関わらず、ゼミやサークル団体単位での出についても毎年募集がありますので、是非出店者側としても積極的に参加を検討いただけますと幸いです。	また、サークルや部活動の情報については昨年度の学生満足度調査にて、課外活動に関する情報が得にくいという多くの声をお聞きましたので、情報ページを刷新しました。 サークルサイトも新設し、部活動だけでなくサークルの情報も見やすくなっております。 他キャンパスへの意見も含めて学生間の交流を求める意見については、新たなイベントを企画中ですので実施される際にはぜひご参加ください。 学内専用 SNS「TUNAG」も利用できますので是非学生の皆さんからもイベントを企画してみてください。
学生課・大学職員の対応や基準に対する不信	処分基準や学生対応への不満。	約2件	職員の対応について、不信感・不満を与えているとのこと、申し訳ありません。 学生一人ひとりが安心・安全に学生生活を送ることができるよう、ルール・マナーの指導を見直しつつ、引き続き取り組んでまいります。 また、学生生活ガイドに学生生活における注意点をやまとめておりますので、ご参照ください。	学生課は、各種厚生補導を通じて、学生の皆さんがより有意義な学生生活の実現と成長につながるよう努めてまいります。
学内生活の質の低下への懸念	手拭き紙の撤去など経費削減が生活水準を下げているとの意見。	約2件	トイレに設置していた手拭き用紙につきましては、2020年度に新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、感染防止対策の一環として臨時に配置していたものです。しかし、2023年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」へと変更され、マスクの着用を含む感染対策の基準が緩和されたことに伴い、大学としても対応方針を見直しました。その結果、感染症対策としての必要性が低下したこと、また大量のごみ廃棄が環境に及ぼす影響を鑑み、手拭き用紙については撤去する運用といたしました。 引き続き、衛生面に配慮した環境整備に努めてまいりますので、清潔なハンカチを持ち歩いていただきますよう、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。	今後とも、年に一度行われる「学生満足度 / 実態調査」に対し、忌憚のないご意見をお寄せいただきますよう協力のほどよろしくお願いいたします。

学生課向けの意見 / 回答②

学生課に寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	学生課回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
経済的支援・奨学金制度の拡充を求める声	給付型の拡充、制度の柔軟化、返金方式の改善、親の支援がない学生への支援要望などが多数寄せられた。	約16件	2020年度より開始された「高等教育の修学支援新制度」により、国による給付型奨学金制度は年々拡充されています。2024年度からは、多子世帯を対象とした授業料減免制度も強化されておりますので、ご自身が該当するかどうかを今一度ご確認いただき、対象となる場合は積極的なご活用をお勧めします。なお、高校在学時に申し込みをされていない場合でも、大学入学後に「在学採用」として申請することが可能です。ご不明点があれば、学生課窓口までお気軽にご相談ください。 本学独自の奨学金制度につきましては、毎年多くの学生の皆さんからご意見・ご要望をいただいております。それらを踏まえて制度の改善に向けた検討を継続的に行ってまいります。ただし、奨学金の財源には限りがあり、支援対象人数の大幅な拡大や総支給額の増額には制約があります。このため、より多くの学生が公平に支援を受けられるよう、支援内容の見直しを図ってまいります。 現在の学内奨学金制度は、2022年度に制度改定が行われ、成績要件を中心とした採用・継続基準が設定されています。しかしながら、制度設計当初と比較して経済状況や為替レートを含む社会的環境が大きく変化しているため、学生の皆さんが安心して学業に専念できるよう、今後も制度全体の見直しを進めてまいります。 また、「高等教育の修学支援新制度」に基づく授業料減免の返金手続きについて、本学では原則として一度学納金を全額納入いただいた後に、減免額を還付する方式を採用しております。ただし、「学納金延納・分納制度」を活用いただくことで、減免後の学納金相当額を納入いただくことが可能です。詳細は学生課までお問い合わせください。	学生満足度調査への協力ありがとうございました。 経済的支援・奨学金制度の拡充については、日本学生支援機構の奨学金の申請サポート、民間財団奨学金の案内、各種教育ローンを幅広くご案内してゆくとともに、昨年度、今年度と多くの要望をいただいた「学内独自の奨学金制度」について、2027年度在学採用、2028年度予約採用からの適用を目指し、制度・オペレーションの改定を学内にて進める予定です。
学生相談・支援環境の改善要望	相談しやすい環境、学生相談室の人員増、精神的ケアの不足などに関する意見。	約6件	学生相談体制の拡充につきましては、昨年度の学生満足度調査において多くのご意見・ご要望をいただきました。こうしたニーズにお応えするため、本学では 2025年度より町田キャンパスの学生相談室における常勤カウンセラーを、従来の 1名体制から3名体制へと増員いたしました。これにより、より多くの学生の皆さんが気軽に相談しやすい体制を整え、学生のメンタルヘルス支援や学業・生活上の悩みにきめ細やかに対応できる環境の充実を図っております。	また、サークルや部活動の情報については昨年度の学生満足度調査にて、課外活動に関する情報が得にくいという多くの声をお聞きましたので、情報ページを刷新しました。サークルサイトも新設し、部活動だけでなくサークルの情報も見やすくなっております。
サークル・部活動の情報不足と充実希望	サークルの数や案内不足、活動内容が分かりにくい、部活動の予算配分の不透明さへの不満。	約9件	サークル・課外活動の情報が不足しているというご意見をいただきありがとうございます。こちらのご意見は、昨年度の学生満足度調査にてかなり多くのご意見をいただきましたので、課外活動の情報サイトの刷新と、サークルサイトの新規立ち上げを行いました。これにより、昨年度よりもより多くの情報をキャンパスごとにわかりやすく取得できるようになったと思いますので一度ご確認いただけますと幸いです。 今後も追加の情報掲載希望や、ご意見等をいただけましたら内容をアップデートしてまいりますので、学生課までご連絡ください。	他キャンパスへの意見も含めて学生間の交流を求める意見については、新たなイベントを企画中ですので実施される際にはぜひご参加ください。 学内専用 SNS「TUNAG」も利用できますので是非学生の皆さんからもイベントを企画してみてください。
喫煙所の場所・設置に関する要望	喫煙所が遠い、屋上設置希望、屋根付き希望、副流煙への懸念など複数件あり。	約5件	喫煙所に関するご意見をいただきありがとうございます。 現在、町田キャンパスに限り 2024年度より喫煙所の設置を行っております。喫煙所の設置は、近隣への影響、副流煙への懸念、学生のアクセスなどを総合的に考慮して、現在の場所に設置を行なっております。まだ設置から時間が経っていないこともあり、設置の場所の変更・追加等は計画されておきませんが、非喫煙者や近隣への配慮を最優先として、今後も検討を進めてまいります。 喫煙を行う学生においては、マナーを守り指定場所以外での喫煙を行わないように徹底してください。	学生課は、各種厚生補導を通じて、学生の皆さんがより有意義な学生生活の実現と成長につながるよう努めてまいります。 今後とも、年に一度行われる「学生満足度 / 実態調査」に対し、忌憚のないご意見をお寄せいただきますようご協力のほどよろしくお願いいたします。
学生マナーや治安の悪化への懸念	学生のマナーや治安が悪いとの指摘が複数。	約3件	学生マナーや治安の悪化についてご意見をいただきありがとうございます。 学生課及び各キャンパス事務室において、ルール・マナー違反を行った学生に対する指導や処分などを行っております。 快適な学生生活を推進するためにも、学生間でルール・マナー違反が発見された場合は、速やかに学生課までご連絡をお願いいたします。 学生生活ガイドに学生生活における注意点をまとめておりますので、ご参照ください。	

教務課向けの意見/回答①

教務課に寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	教務課回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
授業の質・進め方の改善	スライドの読み上げや雑な進行、学生の意見を取り入れない授業など、授業内容の質に対する不満	約20件	スライドの読み上げや一方的な進行、学生の皆さんの意見が反映されない授業、評価方法への不満、そして真面目に授業に取り組む学生が報われないと感じる現状について、大学として真剣に受け止めています。 これらの課題を解決するため、教員向けの研修(FD)をさらに充実させ、効果的な授業の進め方や先進的な事例を教員間で共有し、個々の授業がより良いものになるよう、教員をサポートしていきます。 また、一部の学生から「高校で学んだ内容の復習」といった基礎的な授業に関するご意見もいただいています。これらの授業は、皆さんが専門分野の学習をスムーズに進められるよう、基礎固めのための内容として検討されています。そのため、高校時代に得意だった分野では、物足りなさを感じることもあるかもしれません。英語などの一部科目ではレベル別のクラスを設けていますが、今後も皆さんが満足できる学習内容となるよう、改善を続けていきます。 さらに、授業内容に関するアンケート結果を具体的な形で教員にフィードバックする仕組みを強化し、皆さんの声が直接授業の改善に繋がるように努めます。学生の皆さんが心から「学びたい」と思える、質の高い、充実した授業体験を提供できるよう、これからも継続的に改善を進めてまいります。	教務課には、多くのご意見をよせていただきました。授業環境の改善については、教員組織ともこれらのご意見を共有し、改善を図ると共に、学生のみなさんには各種制度の理解度を高めてもらうため、知りたい情報に到達しやすい仕組みづくりなども検討を進めたいと考えております。これらも含め、今後も皆さんの学修をさらに充実できるよう改善に努めさせていただきます。
履修制度・単位制限への不満	GPAによる履修制限、抽選制の必修科目、履修登録の難しさなどの制度面への指摘	約18件	GPAによる履修可能単位数の制限、必修科目の抽選、メジャー・マイナー選択の方法、他大学と比較した年間取得可能単位数の少なさなど、履修制度について貴重なご意見をいただきました。 LA学群におけるメジャーとマイナーの選択についてですが、これは LA学群の学びの大きな特徴である、多様な学問領域の魅力や違い、そして多角的なアプローチの重要性を理解してもらうために、あえて同一領域からの選択ではなく、異なる領域からの選択をお願いしています。 次に、必修科目の抽選については、より多くの学生がスムーズに履修できるよう、定員の見直しや授業クラス数の調整を通じて改善策を検討していきます。 また、学期ごとの履修可能単位数については、本学では 1学期あたりの上限を 16単位(入学学期は 20単位)としています。これは、大学として一定の学習の質を保証するため、あえて上限を設けているためです。しかし、皆さんの学習状況に合わせて、前学期の GPAに応じて最大24単位まで履修できるよう緩和する制度も設けています。これは、もし皆さんにさらに学習する余力に合わせて、より多くの科目を履修できるようにする制度となっています。	
教員対応のばらつき・不満	教員の私語放置や対応の不平等、授業中の騒音、教授による評価基準の差が激しいとの声	約17件	授業中の私語への対応、学生への対応の不平等さ、教授による評価基準のばらつき、そして教員のやる気に関するご指摘、ありがとうございます。 これらの問題に対処するため、まず教員向けの研修を強化し、すべての教員が共通認識を持ち、一貫性のある対応ができるよう努めます。特に、授業運営における学生への公平な対応や、明確な評価基準の設定と説明に重点を置き、シラバスに記載する到達目標や評価基準も、より明確な表現にし、それに沿った採点が行われるよう、教員全体に周知徹底していきます。 また、授業中の私語や騒音に対しては、教員が毅然とした態度で臨めるよう、研修などを通して具体的な対処法や支援体制を構築します。授業を受けていて不便に感じた点などがあれば、ぜひ授業アンケートで積極的にご意見をお聞かせください。	
情報提供・システムの使いにくさ	Moodle・OBICON・e-Campusが見づらい、情報が分散しすぎている、通知が遅いなどの声	約14件	「情報提供・システムの使いにくさ」に関して貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 Moodle、OBICON、e-Campusなどのシステムの見づらさ、情報の分散、通知の遅れなど、学生の皆さんが必要な情報にたどり着くまでの苦労を認識しております。 この問題の解決には、まず情報の集約と一元化が不可欠です。現在分散している大学の各種情報の集約化を進めております。しかしながら、ポータルサイト(Moodle等)が肥大化することにより必要な情報に到達しづらいという課題があり、今回のアンケート等含め優先的に改善すべき点などについて皆さんの意見を伺っております。 また、各システム(Moodle、OBICON、e-Campus)については、UI/UX(ユーザーインターフェース /ユーザーエクスペリエンス)の改善を行います。特に、新入生が情報を見つけやすいよう、チュートリアル動画やガイドブックの充実を図りつつ、 AIを活用した情報検索ツールの導入も視野に入れ、学生の皆さんが必要な情報にストレスなくアクセスできる環境を整備してまいります。	
資格取得・進学・就職支援	資格講座が少ない、大学院・留学・就職支援の不足、必要な情報や相談窓口の不足	約12件	就職に有利な資格講座の不足、大学院進学や留学支援の不足、必要な情報や相談窓口の不足といった課題は、学生の皆さんの将来設計に直結する重要な問題と認識しております。 まず、資格取得支援については、簿記や語学関連など、就職に直結する資格に関連する授業科目について、授業期間外の科目として皆さんのキャンパス間移動による履修の制限から解放されるような施策などが実現できないか検討いたします。その他、本学で開催している「生涯学習(桜美林エクステンション)」では、「TOEIC L&R Test対策講座」なども実施されていますので、学生の皆さんも受講の機会が増えるよう広報活動などの工夫も検討いたします。 次に、大学院進学や留学支援については、個別の相談対応を教務課や国際交流センターで実施しております。留学や進学に向けて具体的な支援ができるよう努めてまいります。学内の対面の窓口以外にも教務課や国際交流センター、各キャンパス事務室などオンラインでの窓口もありますので、お気軽にご相談ください。 就職活動が長期化しており、授業との両立が難しい点はあります。学生の皆さんが積極的な就職活動に取り組めるようアカデミックアドバイザーやキャリアアドバイザーとも早期から相談できる環境となっております。これらの取り組みを通じて、学生の皆さんのキャリア形成をサポートしてまいります。	

教務課向けの意見/回答②

教務課に寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	教務課回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
カリキュラム内容の改善	抽象的・退屈な授業が多い、専門性の深い学びや実践的授業が少ないなどの改善要望	約10件	「カリキュラム内容の改善」に関する貴重なご意見、ありがとうございます。「社会に対する思考」に偏りがちな授業、専門性の深い学びや実践的授業の不足、そして一部の授業の質の低さや内容の古さといったご指摘は、学生の皆さんの学習意欲と専門性向上に直結する重要な課題です。 これらの課題に対応するため、現代の学生の興味関心や社会のニーズに合わせた多様な授業科目事例を教員向けのFD(Faculty Development)などを通じて共有し、積極的に検討できる環境を創出します。学生にとって親しみやすい題材を扱う授業などの事例紹介なども行われており、よりよい授業、学生の皆さんが積極的に参加しやすい授業を構築できるようにいたします。 次に、深い専門性を追求できるカリキュラムの強化を図ります。幅広く浅い学びだけでなく、特定の分野を深く掘り下げられるよう、定期的な見直しと更新を行い、より魅力的で現代的な内容となるよう改善を進めます。これらの取り組みを通じて、学生の皆さんが本当に学びたいと思える、質の高いカリキュラムを提供してまいります。	
資格・教職課程に関する不満	教育実習派遣や審査基準の不公平感、履修のしづらさなど教職課程への要望	約8件	教職課程の教育実習の派遣については、「派遣条件」を設けて審査を経て決定しています。これは、履修ガイドの「派遣審査の目的」に明記しているように、ご協力いただく中学校・高等学校へ責任をもって実習を全うできる学力・資質のある学生を派遣するためです。また、GPAだけでなく、学生がすべての教職専門科目と必要な教科の科目の修得をすることも、大事な条件としております。 3年生を対象に行っている「教育実習派遣条件説明会」で派遣条件設定の目的や基準について丁寧に説明し、学生からの疑問にも答える場を設けます。また、年生以下でも教職課程ガイダンスやオリエンテーションの場で説明を行っていますので、質問があればお問い合わせください。 学生への情報伝達については、教員と資格教職担当事務室で情報を共有し、必要な情報が明確かつ迅速に学生へ伝えられるようMoodle「資格・教職」のページを分かりやすく整備します。また、事務室へ相談頂いた際は、学生から安心して頼ってもらえるよう、学生一人一人の話をしっかり聞き、資料を提示するなど理解しやすく丁寧な対応に努めます。 実習にかかる交通費の負担等は、早めに実習用の学割を申請していただくことで負担軽減につながる場合があります。説明会等でご案内していますので不明な場合は資格・教職担当事務室までお問い合わせください。 その他、特定の資格の通算GPA等の基準についても、学外で行う実習は学生のみなさんが実習先で求められる専門性を十分に備えていることを前提としているため、各資格課程で過年度の実習生の動向などから検討し、現状の設定としています。ご理解いただけますようお願いいたします。	2
学習環境の整備	教室の設備不備、騒音、座席環境など物理的な学習環境への改善要望	約7件	「学習環境の整備」に関する貴重なご意見、ありがとうございます。教室設備の不備、騒音、座席環境、そして学生の学習意欲のばらつきといった物理的・心理的な学習環境の課題に対し、まず教室設備の改善を計画的に進めます。プロジェクターやホワイトボード、座席などの交換を含め、皆さんが快適に学習できる空間を提供できるよう努めます。また、静かに集中できる学習スペースの確保なども、皆さんの要望に応えられるよう検討してまいります。 次に、授業中の騒音対策については、教員がより積極的に介入できるよう、初回のオリエンテーション時などに授業中のマナーに関する意識向上を図ります。必要に応じて、教員が騒がしい学生に注意し、状況によっては退出を促すなどの具体的な対応を支援します。皆さんが授業に集中できる環境を整えるため、これらの取り組みを進めてまいります。	
成績評価の不透明さ	相対評価の偏りや教授による評価基準の差が大きいなど成績に関する不満	約6件	「成績評価の不透明さ」に関する貴重なご意見をありがとうございます。相対評価の偏り、教授による評価基準の差、ひいきといったご指摘は、学生の皆さんの学習成果が公平に評価されているかという信頼に関わる、極めて重要な課題であると認識しております。 この問題に対処するため、まず成績評価基準の明確化と透明性の向上に努めます。重ねてとなりますが、教員向けの研修を強化し、全教員が共通認識を持ち、一貫性のある対応ができるよう努めます。特に、授業運営における学生への公平な対応や、明確な評価基準の設定と説明など、シラバスに記載する到達目標や評価基準もより明確な表記とこれに準拠した採点が行われるよう周知してまいります。 また、成績開示の迅速化を図り、学生が自身の成績とその評価理由について早期に確認できるようシステムを改善します。これらの取り組みを通じて、学生の皆さんが自身の努力が公正に評価されていると実感できる、信頼性の高い成績評価ができるよう努めてまいります。 なお、シラバスに記載されている成績評価基準と照らし合わせて評価に矛盾を感じる場合は、教員へ成績質問が可能ですが、また、各キャンパスの教務担当事務室では、学生本人が書面での質問を希望する場合に限り、直前の学期の成績に関して「成績質問書」による質問を受け付けています。質問期間は、成績開示日から次学期履修登録締切日(Drop&Add期間を除く)となります。	
学生支援体制への要望	アドバイザーの質、履修登録や人生設計支援などのサポート体制の強化要望	約6件	教務課やアドバイザーの対応、情報提供の遅れや分かりにくさ、キャリア・人生設計支援の不足、各種制度の複雑さなど、学生の皆さんが安心して大学生活を送る上で必要なサポートが不足しているとの認識から、まずは学生サポート体制の連携強化を図ります。 学生の皆さんを支援するアドバイザーはそれぞれの専門的な立場から、アカデミックアドバイザーやキャリアアドバイザー、多様な学生の理解を深めている学生ダイバーシティ支援室や学生生活全般にわたって相談ができる談学生相談室など、確かに多くの窓口があり迷うこともあるかともいます。まず相談先がわかりやすいように、ポータルサイト等で初期の案内を改善するとともに、相談内容などが可能な範囲で共有できるような体制を検討いたします。	

教務課には、多くのご意見を寄せいただきました。授業環境の改善については、教員組織ともこれらのご意見を共有し、改善を図ると共に、学生のみなさんには各種制度の理解度を高めてもらうため、知りたい情報に到達しやすくなる仕組みづくりなども検討を進めたいと考えております。これらも含め、今後も皆さんの学修をさらに充実できるよう改善に努めさせていただきます。

PFC向けの意見/回答

PFCに寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	PFC回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
学食・食堂の設置要望	PFCに学食や食堂がなく不便との声 が圧倒的に多く、授業時間の都合上 町田キャンパスにも行けないという 実情が指摘された。	約6件	履修状況によっては町田キャンパスの食堂を活用できるケースもありますが、全てが十分な対応となっていない点は認識しております。これまで学食の代替としてキッチンカーを導入した経緯もありますが、利用状況が伸びず運用を停止した背景があります。今後の食環境のあり方については、学生の実態や件数等を踏まえながら、対応を検討してまいります。	今回頂いたご意見につきましては、真摯に受け止め、できることから改善を図っていく所存です。
施設・設備面の不満	充電環境の不足、教探の施設の狭さ・設備不足に関する指摘が複数。	約3件	日々の学びに直結する重要なお指摘として受け止めております。現時点では抜本的な改善が難しい部分もありますが、今後の利用状況やニーズの高まり、具体的なデータも踏まえながら、キャンパス全体の整備方針に段階的に反映していけるよう検討を進めてまいります。	
資格取得や履修制度への不満	資格が1年次から取れない、他学部 の授業が取りづらいなど制度面への 不満。	約2件	教育探究科学群では、教育学を主軸とした探究を重視し、バイウィークを活用した学外での学びを柱の一つとしています。そのため、他学群の科目履修や資格取得については一部制限があるのが現状です。ただし、制度の中でも工夫次第で実現可能な選択肢もありますので、関心のある学生は、ぜひ担当アドバイザーや事務局と相談していただくようお願い致します。	
就職・公務員支援情報の不足	特にPFCでは公務員就職に関する 情報が皆無との声がある。	約1件	桜美林エクステンションの公務員支援講座等の活用が可能です。興味のある方は、ぜひこうしたプログラムへの参加もご検討ください。	
職員対応・新設学群への不安	事務室の対応に対する不満や、新 設学群であることへの将来不安の 声。	約2件	今後の改善や学群のさらなる発展に向けた貴重な示唆として真摯に受け止めております。こうしたご意見を踏まえ、学生一人ひとりが安心して学びを深められる環境づくりに引き続き取り組んでまいります。	

東京ひなたやまキャンパス向けの意見 /回答①

東京ひなたやまキャンパスに寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	東京ひなたやまキャンパス回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
スクールバスの設置・交通アクセス改善	ひなたやまキャンパスへのスクールバス設置、バス本数増加、定期代支援などの要望	約50件	東京ひなたやまキャンパスにもスクールバスを運行させる検討をいたしました。バス事業者や町田市との協議の結果、本学の事情による新たなバスルートの設置は認められず、バス事業者による既存の路線バスの便数を増やすことで対応することとなりました。東京ひなたやまキャンパスへのアクセスについて多くのご意見やご要望をいただいていることから、利用実態などを踏まえながら、路線バスの運行ダイヤや便数の見直しをバス事業者に要望するなどの対応を検討してまいります。	学生満足度調査にて東京ひなたやまキャンパスに多数のご意見を賜りありがとうございます。 特にスクールバスの運行についてのご意見を多く頂戴いたしました。 スクールバスの運行については、バス事業者や町田市と協議を重ねた結果、設置することが認められず、学生の皆様のご要望にお応えすることができず誠に残念ではありますが、路線バスの運行についてバス事業者や町田市とも協議を重ね、より良い通学環境を設けることができるよう対応を図っていく所存です。 その他に頂戴したご意見についても真摯に向き合い、教職一丸となって、常に学生の皆様の学修環境を改善していけるよう努めます。 学生満足度調査の機会だけでなく、日常からご相談などがございましたら、遠慮なく芸術文化学群の教員や東京ひなたやまキャンパス事務室職員にお知らせください。
学食の設置・充実	学食がないことへの不満、温かい・美味しい・安価な食事の提供、種類の拡充の要望	約30件	施設・設備的な制約等キャンパス内の環境として、学食を運営できる食堂事業者の選定に課題を有しています。一方で学生の皆さんの要望に応えるため、既存のスペースを活用し、お弁当販売やキッチンカーの誘致など食事提供できるような対策を適宜講じております。	
コンビニ・売店の設置	コンビニやおにぎりのある自販機など、食の選択肢拡大を望む声	約10件	コンビニエンスストアや対面販売店舗の誘致については継続的に検討を進めておりますが、収益面が折り合わず対応可能な企業が見つかっておりません。今年から冷凍食品の自販機を増やしたり、飲料自販機に菓子を加えるなどのバリエーション拡大を行っておりますが、都度学生の皆様の意見を伺い、内容の精査をしてまいります。また、近隣徒歩圏にはコンビニエンスストアやスーパーマーケット(二店舗)もありますので、そちらのご利用もご検討ください。	
図書館・蔵書の充実	図書館が狭い、専門外の資料が少ないなどの蔵書面の不満	約5件	東京ひなたやまキャンパスの図書館は芸術図書館としてあり、蔵書されている書籍についても芸術に特化した内容が多くなっています。町田キャンパスの三到図書館に蔵書されている書籍であれば、図書館 HP内の蔵書検索システム(OPAC)から資料を検索し、予約もしくは、取り寄せることができます。また、DB(データベース)から読める雑誌もありますので活用してください。その他にも、書籍の購入希望ができるシステムもあります。	
芸術施設・実技環境の充実	ダンススタジオ・練習室不足、カリキュラム不足への要望	約5件	図書館の広さについては、建物の構造上の耐荷重制限や他のスペースとの兼ね合いもあり急激に拡大することは出来かねます。また、現状の図書館利用者数から見ても、着席できるスペースが足りていないことはないため、現状維持を考えています。	
授業時間・履修への不満	履修の時間割が被っている、自由に取れないなどの不満	約4件	2020年に町田キャンパスの徳望館から東京ひなたやまキャンパスに移転し、大幅に芸術文化学群生が利用できる施設は拡充されました。	
			キャンパス施設の安全衛生環境を整えるため施設の利用制限はあります。利用内容については東京ひなたやまキャンパス事務室もしくは、各専修の助手宛にお問い合わせください。カリキュラムにおいては毎年見直しを行い、必要に応じて各専修の「特別授業」として開講し拡充をしています。	
			芸術文化学群では他の芸術大学とは異なり、横断的な芸術の学びを展開しています。	
			必要に応じて、自専修に限らず他専修や他学群の学びも取り入れることによって、自分独自の芸術の学びを形成していただきたいと考えています。	
			卒業要件の充足に必要な必修科目や学群共通科目、各専修での学びの礎となる科目については、重複が発生しないように調整し全学生が履修できるように設定しています。	
			また、履修希望者数が多い科目については、開講クラス数を増やし履修機会の創出に努めています。	
			しかし、学生の皆さんの興味は多様であり、その興味の全てに対応することは現実的には難しい状況です。	
			また、芸術文化学群の科目においてはその特性上履修人数を制限しないと教育的効果が見込めないこともあり、抽選科目が多くなり、必ずしも希望する科目の履修ができないということはありません。	
			履修登録の科目編成を上手に行い、効率良く学修を進めるためには、オリエンテーションの際などにアドバイザーの教員に相談し、科目内容について詳しく正しい情報を得て 4年間8セメスターの履修計画を立てることが有効です。	
			ぜひアドバイザーの教員に相談してみてください。	

東京ひなたやまキャンパス向けの意見 / 回答②

東京ひなたやまキャンパスに寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	東京ひなたやまキャンパス回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
専修間の交流促進	芸術文化学群内で専修間のつながりを強化してほしいという意見	約2件	芸術文化学群が提供する科目は専修を問わず履修することができる科目も多くあります。他大学のような学部学科制の場合は、所属していない学部や学科の専門科目は履修できないことが一般的であるため、授業内でのグループワーク等を活用し、専修問わず積極的に学生間の交流を促進してください。 また、桜日向祭実行委員会やさくらメイトなどの学生団体には、専修を問わず多数の学生が所属しており、同じ目的に向かって活動を進めています。 その他にも東京ひなたやまキャンパスにはさまざまなサークル団体もあります。ぜひ、積極的に他専修の科目を履修したり、多くの専修の学生が所属している団体の活動にも参加してみてください。	学生満足度調査にて東京ひなたやまキャンパスに多数のご意見を賜りありがとうございます。特にスクールバスの運行についてのご意見を多く頂戴いたしました。 スクールバスの運行については、バス事業者や町田市と協議を重ねた結果、設置することが認められず、学生の皆様のご要望にお応えすることができず誠に残念ではありますが、路線バスの運行についてバス事業者や町田市とも協議を重ね、より良い通学環境を設けることができるよう対応を図っていく所存です。 その他に頂戴したご意見についても真摯に向き合い、教職一丸となって、常に学生の皆様の学修環境を改善していけるよう努めます。 学生満足度調査の機会だけでなく、日常からご相談などがございましたら、遠慮なく芸術文化学群の教員や東京ひなたやまキャンパス事務室職員にお知らせください。
就職・資格支援の強化	低学年からの就職支援・資格取得支援情報を増やしてほしい	約2件	貴重なご意見ありがとうございます。2025年度より全学年の学生がキャリアアドバイザーと面談することが可能になりました。就職に限らず、卒業後の進路に関して相談可能です。また、芸術文化学群では低学年向けのキャリアデザインの授業の内容を拡充しており、芸術を学ぶ学生のためにカスタマイズされた授業を展開し、その他にも全学生対象のイベントも開催しています。イベントの情報についてはe-Campusをご確認ください。複数のサービスを展開していますので、ご活用ください。資格については、教職科目以外でしたらオンラインでも受講できる講座(『桜美林エクステンション オンAR.』)があります。別途費用は掛かりますが、割引価格での受講が可能です。大学の学びに加えて、ご自身の進路実現のスキルアップもできます。	
事務室対応への不満	事務室職員の対応や体質に対する不信・批判	約2件	今後の改善や学群のさらなる発展に向けた貴重な示唆として真摯に受け止めております。こうしたご意見を踏まえ、大学事務職員として学生の皆様に対するサービス体制と指導体制の双方を充実させ、学生一人ひとりが安心して学びを深められる環境づくりに引き続き取り組んでまいります。	
キャンパス設備全般の改善	カフェテリアやラウンジの食事環境など、全般的な改善要望	約2件	施設・設備的な制約等キャンパス内の環境として、学食を運営できる食堂事業者の選定に課題を有しています。一方で学生の皆さんの要望に応えるため、既存のスペースを活用し、お弁当販売やキッチンカーの誘致など食事提供できるような対策を適宜講じております。 安価で美味しい、そして温かい食事を安定的に提供できるよう、複数の事業者と情報交換を行いながら、実現に向けた方法を検討していきたいと考えています。	

新宿キャンパス向けの意見 / 回答

新宿キャンパスに寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	新宿キャンパス回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
サークル・課外活動環境	サークルの数や種類が少ない、運動系サークルの活動環境が整っていない、支援体制の強化を希望する声	約20件	課外活動団体(サークル)については学生主体の設立を基本としておりますが、職員としても学生からの相談があれば設立に向けてサポートしております。キャンパスでできる運動は限られていますが、近隣の小中学校やスポーツ施設と連携を行い、球技等の活動やイベントも行っています。今後も地域との連携を強化し、学生の運動機会の創出を図ります。	多くのご意見をよせていただきありがとうございます。授業環境の改善については、教員組織ともこれらのご意見を共有し、改善を図ると共に、学生のみなさんには各種制度の理解度を高めてもらうため、知りたい情報に到達しやすくなる仕組みづくりなども検討を進めたいと考えております。 施設面のご要望については、限られたスペースの中で、学生のみなさんにより満足していただけるよう、地域や新宿区、関連企業とも連携しながら、改善に努めて参ります。
食堂・学食への不満	学食の味・価格・量への不満、バリエーションが少ない、ドリンクサーバーが空	約15件	貴重なご意見ありがとうございます。参考にさせて頂き、学食運営業者との打ち合わせを進めていきます。	
図書館・学習環境	図書館の蔵書不足、自習スペースの騒がしさや不足、紙の本を増やして欲しい	約10件	新宿キャンパスはペーパーレスを推進しており、図書館は電子書籍で運用しています。推薦図書のパ架コーナーを常設しています。不定期で更新していますので是非ご活用ください。ナレッジクラウドは自習室としても利用できます。また、自習スペースで騒いでいる学生に対しては注意を行っていきます。	
英語・授業内容への不満	レベルに合わない英語授業、成績評価の不透明さ、面白い授業が少ないなどの指摘	約7件	英語レベルについては、入学前のレベル判定テスト (CASEC)スコアに基づき、1年次のクラス分けを行っています。また、1年次秋学期のアチーブメントテスト (CASEC)のスコアとそれまでの成績に基づき、2年次になるタイミングで再度レベル判定をしています。教科書や課題もレベルに合ったものを統一で採用していますが、履修しているクラス担当教員の授業の進め方により、学修上の困難を感じている場合には、事務室窓口にてご相談ください。成績評価については、シラバスに記載されている成績評価基準と照らし合わせて評価に矛盾を感じる場合は、教員へ成績質問が可能です。また、各キャンパスの教務担当事務室では、学生本人が書面での質問を希望する場合に限り、直前の学期の成績に関して「成績質問書」による質問を受け付けています。質問期間は、成績開示日から次学期履修登録締切日 (Drop&Add期間を除く)となります。授業内容のアンケート結果を教員へ具体的にフィードバックする仕組みを強化し、学生の声が授業改善に直接反映されるよう努めます。学生の皆さんが「学びたい」と心から思える、質が高く、充実した授業体験を提供できるよう、継続的に改善を進めてまいります。	
資格・キャリア支援	資格取得支援・単位認定の不足、キャリア相談の質向上の要望、航空業界の知識不足	約6件	BM学群では、「特別講義」、「ビジネストピックス」といった科目で、その時々々の社会情勢や学生からのニーズに合わせて内容を変えて、柔軟に開講しています。資格取得支援については、簿記検定、マナープロトコール検定、アマデウスシステム検定などの取得を支援する科目を開講していますが、更に他の資格・検定取得支援を含めて科目の内容を見直し、新規開講も検討していきます。また、単位認定については、現状では簿記検定3級・2級での技能審査がありますが、より上級や別の資格にも対象を広げるかどうか、BM学群の教育内容に照らして検討します。キャリアアドバイザーは、2025年度より指名制になりました。各業界出身のアドバイザーがおりますので、ご自身の希望される進路に合わせて、ご指名ください。	
設備・Wi-Fi環境	Wi-FiやBluetoothが弱い、運動施設がない、ロッカーの不足などの環境面の指摘	約6件	限られた敷地のため、大規模な運動施設がありませんが、新宿区の施設などの活用を行っております。ロッカーに関しても限られたスペースの中で、少数ではありますが設置しています。数に限りがあるため、各学期の学群ポイント(学業成績、学修ポートフォリオの活用状況、資格取得や学内外での活動実績等から算出)上位者に優先的にご利用頂ける環境としています。Wi-FiやOBICON等の情報環境については、情報システム部の回答欄をご確認ください。	
留学制度	4年生も使える中・長期留学制度が欲しい、留学費用が高く参加しづらい	約5件	長期留学は4年生でも参加可能で、1セメスタの留学もできます。一部の提携校では語学コースを用意しており、語学コースを選択した場合は語学要件がありません。一方で長期留学の機会を知らずに学生生活を過ごす学生もいるかと思うので、より広くプログラムを認知いただけるよう周知に取り組んで参ります。	
学生間トラブル・対応	新宿キャンパスでの公認団体の不適切行為、共用スペースの占拠などへの改善要望	約4件	新宿キャンパスを活動拠点とする団体には課外活動総会を毎学期実施しており、その際に共有スペースが特定の団体によって占領されることがないよう協議を行っています。また、公認団体にはキャンパスの模範学生としての行動を心掛けるよう案内しています。	
全体運営・大学方針	費用の透明化希望、大学の方針や支援の偏りへの不満、生活費との両立困難への配慮要望	約4件	学園の事業計画・事業報告・財務状況については、公開されていますので、下記をご確認ください。 https://www.obirin.jp/disclosure/financial.html	

多摩キャンパス向けの意見 / 回答

多摩キャンパスに寄せられた 代表的な意見	具体的内容	類似意見の 件数	多摩キャンパス回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
食堂メニューの充実	食堂・学食のバリエーションが少なく、 選択肢や量の改善を希望する声	約4件	各キャンパスで学食運営事業者が異なるため、皆様からいただいたご意見・ご要望につきましては、それぞれの学食運営事業者と共有し、メニューの充実等、日々改善に努めてまいります。	貴重なご意見をありがとうございます。頂いた内容は真摯に受け止め実施可能なものは無いか検討させていただきます。 また経済支援や履修、学生生活等で悩んでいることがあればお気軽にご相談にきてください。事務室から何かアドバイス等ができるかもしれません。
学群の垣根を超えた交流の不足	多摩キャンパスは航空系のみで他学群 との交流が持ちにくいという指摘	約1件	貴重なご意見ありがとうございます。直には難しいかもしれませんがキャンパス間で何か交流イベントができないか検討してみたいと思います。	
キャリア支援の質	航空就職支援スタッフの企業知識不足 への不満、改善を望む声	約1件	キャリアアドバイザーについては今後、各種研修等を通して知識の向上を目指していきます。また専門的な部分については教員の方が詳しい場合がありますので、教員にも相談をしてみてください。	
資格取得支援の不足	授業で取れる資格が少ない点について の不満	約1件	航空学群は理系とは言っても技術管理に関連したものになっているため、授業で取れる資格は少なくなっています。	
留学制度の選択肢	アメリカ以外の留学先も充実させてほしいという要望	約1件	航空学群の海外派遣はあくまで研修となっており、航空業界を学ぶという観点から米国へのみの派遣となっています。どうしても米国以外の国を希望するのであれば国際交流センターで行っている海外派遣プログラムにご参加ください。	
食事の売り切れ対策	ご飯が売り切れていることが多いことへの 改善要望	約1件	食堂運営事業者と連携しながら、日々の食堂運営状況について確認を進めてまいります。その中で、提供数量の調整や提供メニュー等対応可能な施策について検討していきたいと考えております。	

キャリア開発センター向けの意見 / 回答①

キャリア開発センターに寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	キャリア開発センター回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
キャリアアドバイザーの制度変更への不満	制度変更のタイミング（4月）が悪く、担当者が途中で変わることで不安や負担を感じたという声が多い	約25件	2025年4月にキャリアアドバイザー（CA）制度の変更がありました。旧 CA制度には3点の大きな問題があったためです。1点目は、15年程度前に設計されて以来、見直しの無かった旧 CA制度が、現在の就活スケジュールに沿っていないことが顕在化してきたという問題です。漠然とした就職への不安を持つ 1年生、就活の早期化に伴い既に就活を始めている 2年生、インターンシップ参加を控えた春学期の3年生など、3年秋学期よりも前にCAとの面談希望が多くあるにもかかわらず、旧 CA制度では3年生秋学期以降しか面談ができませんでした。2点目は、一度担当として決められた CAと相性が悪かったとしても、担当の CAの変更ができないという問題です。3点目は、直近の予約が取りたいにもかかわらず、担当の CAの予約が埋まっており相談ができないという問題です。これらの問題に対し、学生の皆さんから多くの改善要望が毎年出ており、今回の制度変更につながりました。 新制度では、3年生秋学期を待たずして、全ての学生が CA面談ができるようになりました。また、個人の担当制ではなく学群担当制となりました。美容院の予約のように、同じ CAを指名し続けることも可能です。病院でセカンドオピニオンを受けるように、複数の CAの意見も聞いてみることもできるでしょう。また、急に面談をしてほしいという場合、仮に希望のキャリアアドバイザーの直近の予約枠が空いていなかったとしても、違う CAの予約枠が空いていれば面談を行うことができます。 制度変更のタイミングについては、都合上、年度の切り替えのタイミングである 4月となりました。現 4年生の皆さんに対しては、不安や負担をかけてしまう申し訳のない変更時期となりましたが、現 CAも昨年度までと同様、経験豊富な有資格者であり、学生の皆さん一人ひとりに寄り添った支援を行うというキャリア開発センターの方針は、これまでも、そして、これから変更はありません。是非新制度を活用してください。	多数の貴重なご意見をありがとうございました。キャリア開発センターでは、皆さんが納得感の高い進路をとることができるよう支援を行ってまいります。 2025年4月より、OBIRINキャリアナビやキャリアアドバイザー（CA）制度を変更しており、慣れない部分も多々あるかと思いますが、皆さんにとってより良いシステム、制度となるよう、引き続き尽力してまいります。 現在、e-CampusやOBIRINキャリアナビのトップページのお知らせに、CAの紹介シートを公開しています。併せて、キャリア開発センター職員の紹介シートを町田キャンパス キャリア開発センターに写真入りで掲出しています。是非ご覧ください。 面談は、予約が必要な CAに加えて、キャリア開発センター職員や各キャンパスのキャリア支援担当者も相談に乗っています。職員の予定が空いていれば、予約なしでも相談ができますので、漠然とした疑問や ES確認、面接対策など、キャリアに関する相談であればどうぞ活用ください。
アドバイザーの質・対応への不満	相談時に専門性や対応の質が不十分だった、やる気が感じられないなどの指摘	約12件	CAは経験豊富な有資格者ではありますが、特定業界の専門性が不十分、やる気が感じられない等の印象を与える対応となってしまうことお詫びします。CAは、どの業界・職種でも共通する就活知識やキャリア支援についての素養はありますが、現状、世の中全ての業界の専門的な知識を持っているわけではありません。今後、学生から人気の高い特定業界への専門知識については、学群担当制の仕組みを活かし、学群の特性に合わせた高い専門性を担当 CA全員が身に付け、支援が向上するよう努力してまいります。	
制度の予約方法・利便性の改善要望	予約が取りづらい、名前で検索できない、駆け込み対応がないなどの不便さの訴え	約10件	CA制度と共に、進路支援システム「OBIRINキャリアナビ」も新しいものに変更となりました。面談の運用状況のデータを確認する限り、旧システムでは直近の予約が取りづらいケースもありましたが、新システムにおいて直近の予約が取れないという状況は非常に少ないかと思えます。また、新システムの面談予約方法が分からないという問い合わせはこれまでも多くありました。そのため、キャリア開発センターでは、端的に分かる面談予約方法のチラシを作成し、キャリア支援系の授業、またキャリア開発センターや各キャンパス事務室で配付、e-Campusへのアップロード、アプリ「桜就勝」でのプッシュ通知によるお知らせを行う等の対策を行っています。また、春学期や秋学期のオリエンテーション期間中に進路・支援ガイダンスを実施し、より丁寧に説明してまいります。 また、面談予約の際、CAの名前で検索できないことは我々も把握しており、システム提供企業への改善要望を行っておりますが、これはシステムの仕様が変更されなければ解決できない問題であり、短期的な改善が難しいことをどうかご理解ください。また、現状、当日のCAとの面談予約は受け付けておりませんが、町田キャンパスのキャリア開発センターでは、職員の予定が空いていれば、全学群・全学生を対象に、対面・電話・オンラインでの相談対応を随時受け付けています。是非お問い合わせください。	
情報発信・広報の不足	制度やイベント情報が学生に伝わっていない、イーキャンパスだけでは不十分との声	約10件	キャリア開発センターでは、大学全体の指針同様に、e-Campusを重要事項を掲載する場所としています。また、他の学生サービスとは異なり「就職後に通用する社会性を備えてもらいたい」というキャリア開発センターの想いがあります。学生の皆さんには、就活に関する情報を待っているだけではなく、自らの手で能動的に取りに行く姿勢を大事にしてもらいたいと考えています。 また、キャリア開発センターでは、学生の皆さんに必要な情報が適切な時期に届けられるような取組みを行っています。例えば、他大学ではあまり見られない、桜美林生専用の就活アプリ「桜就勝」を用意しています。これは全学生が利用可能で、キャリア開発センターからの情報や各社からの求人、大学外のイベント情報、インターンシップ情報、先輩たちの就活体験談、就活関連のイベント情報等、皆さんに知ってほしい情報が集約されています。就活アプリ「桜就勝」は App StoreもしくはGoogle Playストアで「桜美林」や「桜就勝」で検索するとヒットします。インストールの上、是非活用してください。	

キャリア開発センター向けの意見 / 回答②

キャリア開発センターに寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	キャリア開発センター回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
旧制度の評価・固定担当制の継続希望	前のように一人ひとりに担当が固定されていた制度が良かったとの声	約8件	キャリアアドバイザーを固定化することも、複数のキャリアアドバイザーを状況に合わせて柔軟に活用することも、学生自身で選択が可能となっています。固定担当をご希望される場合は、面談予約時にキャリアアドバイザーの名前が表示されますので、特定のアドバイザーで継続的に面談するようにしてください。	多数の貴重なご意見をありがとうございました。 キャリア開発センターでは、皆さんが納得感の高い進路をとることができるよう支援を行っています。 2025年4月より、OBIRINキャリアナビやキャリアアドバイザー（CA）制度を変更しており、慣れない部分も多々あるかと思いますが、皆さんにとってより良いシステム、制度となるよう、引き続き尽力してまいります。 現在、e-CampusやOBIRINキャリアナビのトップページのお知らせに、CAの紹介シートを公開しています。併せて、キャリア開発センター職員の紹介シートを町田キャンパス キャリア開発センターに写真入りで掲出しています。是非ご覧ください。 面談は、予約が必要な CAに加えて、キャリア開発センター職員や各キャンパスのキャリア支援担当者も相談に乗っています。職員の予定が空いていれば、予約なしでも相談ができますので、漠然とした疑問や ES確認、面接対策など、キャリアに関する相談であればどうぞ活用ください。
キャリア開発センターの存在認知向上	センターの場所が目立たない、認知度が低く利用機会が持てないとの声	約6件	キャリア開発センターの場所は、教室や他部署等、大学施設全体の兼ね合いがありますが、今後検討してまいります。	
就職活動関連の支援・情報提供の充実	就活に関する説明・支援が不足している、情報をもっと早期から広く提供してほしいとの声	約6件	e-Campus、ポスター、デジタルサイネージ、懸垂幕、アプリのプッシュ通知、キャリア支援系の授業内での告知、 CAとの面談内での告知等、キャリア開発センターは各種告知媒体を用いて学生の皆さんに情報が届くよう努めております。しかしながら、場合によっては学生の皆さんに情報が届かないことがあるかもしれません。今後も、告知方法・タイミング等は随時検討を行い、学生の皆さん一人ひとりに情報が届けられるよう尽力してまいります。他の項目においても回答しておりますが、キャリア開発センターでは就活アプリ「桜就勝」を用意しています。このアプリは低学年を含む全学生が使用が可能で、キャリア開発センターからの情報が集約されています。まずはこのアプリを是非活用してください。 また、キャリア開発センターの支援対象は、低学年を含む全学年であり、 1年生が来室することも多々あります。予約なしでも職員が空いていれば面談が可能です。その際に各種情報を職員からお伝えすることも可能ですので、是非一度来室してください。	
進路・資格支援の拡充要望	進路全般や資格取得に関するサポートをもっと手厚くしてほしいとの声	約4件	資格については、教職科目以外でしたらオンラインでも受験できる講座（『桜美林エクステンション 資格のオンAR。』）をご用意しております。別途費用は掛かりますが、割引価格での受講が可能です。大学の学びに加えて、ご自身の進路実現のスキルアップもできますのでご利用ください。	
OB・OGとの連携希望	先輩の進路情報や体験談をもっと共有してほしい、OB・OGと話したいという声	約3件	【OBOG訪問の仕方について】 個人情報保護の観点から OBOGの紹介や取次は CADACでは行っておりません。学生の皆さん自身で企業に連絡し、 OBOG訪問をしたい旨連絡するように伝えています。 【OBOGの探し方】 ・OBIRINキャリアナビ上の企業ページに OBOG情報が掲載されています。 ※企業側がOBOGを登録している場合に限りです ・OBIRINキャリアナビTOPページ＞求人票・企業を探す＞条件検索＞こだわり条件で探す＞ OB・OG情報ありをチェックすることで、OBOGが在籍する企業を検索することができます。 ・マイナビ、リクナビから企業検索の条件検索で先輩検索が可能です。桜美林大学を入力し検索することができます。 ※企業側がOBOGを登録している場合に限りです 上記方法を活用してみてください。	
就職活動による公欠制度の整備希望	就職活動に伴う欠席を正当化してほしい、教員の対応のばらつきに不満との声	約3件	本学に「公欠制度」はありませんが、自己都合による欠席でない忌引き等は、所定の手続きをすることで、授業の欠席に関する配慮が適用されます。しかし、就職活動は基本的には配慮事項には含まれていません。学業と就職活動の調整ができるよう早期から事前準備に取り組んでください。	

国際交流センター向けの意見 / 回答

国際交流センターに寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	国際交流センター回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
留学プログラムの種類・期間をもっと充実させてほしい	短期・中期・長期の選択肢が少ない、3・4年でも行ける制度が必要、学群別・編入生向けも充実を求める声。	約16件	短期留学については38種類、中期留学は健康福祉学群と教育探究科学群を除く5学群に設置、長期留学は全学群に開放しており、留学の種類は十分あると思います。中期については、全学群開放型にして学群問わず派遣ができるように整備していきたいと思います。	
経済的支援(奨学金・費用援助)をもっと手厚くしてほしい	円安の影響や費用の高さへの不満、奨学金・補助金の拡充要望が多い。	約14件	円安の影響は大きいと思し、米国などはプログラム費の値上げをしているので、余計派遣しづらい状況です。少しでも学生負担を減らすため、学内留学奨励金制度を設けておりその制度は継続することと、オセアニアといった円高で派遣できる英語圏の留学プログラム開拓を進めています。	
国際交流イベントの改善・多様化	留学生との交流企画の質や頻度、内容の改善要望。運動会、文化フェスなども含む。	約11件	春学期、秋学期のオリエンテーション後に在校生・留学生の交流の一環としてウェルカムパーティーを開催しています。また、11月に山中湖キャンプを開催し、在校生・留学生と1泊2日のキャンプを開催しています。より多くの学生に交流をしてもらいたいため、イベントの強化を図ります。	
国際交流センター職員の対応に満足している	メール・電話対応の迅速さ、サポートの丁寧さなどのポジティブ評価。	約9件	温かいお言葉ありがとうございます。引き続き、充実したサポートをしていきたいと思います。	
情報提供や広報の強化をしてほしい	制度内容・参加条件・告知方法などがわかりづらいという声。	約9件	留学の説明会、申請方法などは、e-CampusやMoodleに情報を格納しています。学生には情報を格納していることを周知していますが、履修登録が終わるとe-Campusを見に行かない傾向にあります。国際交流センター情報のみならず、各部局・各学群の大切な情報が更新されていくので、一日一回は確認することを伝えていますが、保護者の皆様からも学生へ助言いただき、ご協力いただきたいと思います。	
前年度参加者や留学経験者と話す機会が有益だった	オリエンテーション・相談会など、先輩との交流が安心材料になったという声。	約6件	先輩の体験談はもっとも有益な情報だと考えています。引き続き、この取り組みを充実させていきたいと思います。	
国際交流が一部キャンパスに偏っていることへの不満	ひなたやまキャンパスなどでの機会不足の指摘が複数あり。	約5件	各キャンパスには国際担当を配置していますが、人数が少ないのが正直なところです。コロナ後、国際交流センターのバーチャルオフィスにてZOOM相談を設けております。こちらもご利用いただけると良いと思います。	
留学生との交流機会・関係構築に関する提案	buddies制度、SNS交換制限、打ち解けにくい環境などの改善提案。	約5件	各キャンパスに留学生交流団体があります。町田キャンパスもGlobal Supportersといった交流団体を設置しています。多くの学生から「英語ができないから参加しにくい」という声を聞きますが、逆に留学生もおぼつかない日本語でチャレンジしています。国際交流センターとしては、「流暢な英語を話す必要はなく、みんなで良い思い出を作れるようにリラックスして参加してほしい」とアドバイスし、多くの学生が参加しています。考えるより、行動に移すことが大切だと思います。参加についてご家族が迷っているようでしたら、国際交流センターにご相談ください。アドバイスさせていただきます。	
制度・条件面での明確な説明不足	二年度限定や成績要件など、制度上の制約が事前に十分に伝えられていないという声。	約4件	こちらにつきましては、各学期の留学説明会やe-CampusやMoodleに条件を開示しております。また、分からない時は国際交流センターに来ていただければ、ご対応させていただきます。	
語学・授業面での改善要望	英語授業の拡充、語学サポートや国際交流授業への期待など。	約3件	こちらのご質問につきましては、学群や教務課との案件となりますので、いただいたご質問を共有させていただき、今後の改善に活かしていきたいと思います。	

施設管理部向けの意見 / 回答

施設管理部に寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	施設管理部回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
トイレ関連（ペーパータオル・生理用品など）	ペーパータオル復活希望、生理用品設置要望、トイレ清潔性など複数の声。	約20件	老朽化の進んだトイレについては学生の皆さんの要望・利用頻度が高い場所から順次、衛生面に配慮した改修を進めており、キャンパス整備計画の一環として対応しております。 また、ペーパータオル・生理用品などは、学園方針の決定に基づき対応・検討をしていきます。	今回頂いたご意見を真摯に受け止め、関係部署と連携しながら改善を図っていく所存です。
空調・温度調整・換気に関する不満	夏の冷房が寒すぎる、温度ムラ、空調改善要望など。	約15件	空調に関しては、老朽化の進んだものから順次改修を図っており、本学においても省エネ運転を原則として、常に屋外、館内温度を監視していますが、共用部の温度設定については見直しをしていきます。 日々の天候等の状況により暑く感じる・寒く感じるなどの個人の体感差については、各人の衣類の着脱等で調整いただくようご協力をお願いします。	
徳望館など特定施設の設備不足	徳望館の給水機・電子レンジ不足、椅子・机の使いにくさなど具体的な指摘。	約10件	・徳望館における給水機・電子レンジの不足については、今後は関連部署と協議を行い、予算や設置スペース等を考慮しつつ、設置の可能性について検討していきます。 ・椅子・机の使いにくさについては、座り心地や机の高さ、レイアウトなど、すぐの改善が難しい面もありますが、より快適にご利用いただける環境を目指して、段階的に対応を検討してまいります。	
自習・休憩スペース不足	休憩・昼寝・静かに過ごせるスペースが少ないという指摘。	約7件	現状、自習や静かな休憩のニーズが高まっており、町田 Cキャンパスではスペースの確保が難しい状況にあることを把握しております。 一部の共用スペースや空き教室等について、時間帯によっては自習・休憩目的での開放など、安全面や管理の観点から調整が必要な場合もありますが、できる限り柔軟な運用を検討します。 また、中長期的には、静かに過ごせる環境（リラクスペースや仮眠スペースなど）を設けることも含めて、施設の拡充・改善を計画的に検討していきます。	
施設の老朽化・改善希望	体育館や建物、図書館、サレンバークー館などの古さ・不便さの改善希望。	約12件	各施設は建設から一定の年月が経過しており、老朽化による不便さや安全面への懸念があることは、認識しており、既に一部施設では修繕、設備更新などを段階的に進めておりますが、すべての施設を一度に対応することは難しく、優先順位をつけながら中長期的な整備計画に基づいて対応を進めています。 改善には一定の時間を要する部分もありますが、学生の皆さんが、より快適で安全に学べる環境づくりのために、引き続き取り組んでいきます。	
その他の設備希望（ロッカー・ジム・ゴミ箱など）	ロッカー、ジムの拡張、ゴミ箱、授業椅子の快適性など個別要望。	約10件	・ロッカーについては運用面も含めて関係部署と連携して検討します。 ・ジムの利用者数や稼働率を調査して関係部署と連携して検討します。 ・ゴミ箱の設置については、清掃担当とも連携し、共用部である廊下や学生ラウンジ周辺に新たにゴミ箱を設置しています。分別ルールを明確にし、環境美化とリサイクル推進にもつなげています。 ・老朽化した椅子については、主要教室棟より順次更新しており、更新計画を進めていきます。	
バリアフリー・ユニバーサルデザインの改善希望	待望館・図書館などの段差やバリアフルな設計への改善要求。	約5件	実際に不便を感じている学生の皆さまの声は、施設改善の上で非常に大切な指針となります。 関係部署と連携しながら、現場の実情に即した改善が行えるよう努めてまいります。	
図書館・学習スペースの改善希望	蔵書の充実、個室学習スペースの設置、発言可能なZoom対応席などの提案。	約5件	蔵書の充実や個人ブースについては、図書館メディアセンターに寄せられた代表的な意見の回答を参照ください。 Zoom等を利用した発言を伴うオンライン授業への対応につきましては、館内の静穏な環境の維持やスペースの確保といった観点から、現時点では実施が困難であると考えております。 何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。	
喫煙所設置・改善要望	屋上や屋内喫煙所の設置希望、電子タバコ限定への疑問など。	約3件	法規制もあり、非喫煙者の意向や JTとの協定もあるため、関係部署と共に可能な範囲で検討していきます。	

事業課向けの意見 / 回答

事業課に寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	事業課回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
学生食堂の価格改善要望	学食が高い、量が少ない、学生の金銭状況に合わないとの声が非常に多数。	約50件	各学食運営事業者は、食材仕入れ方法やオペレーションの見直しを図りながら、学生の皆様に低価格で食事提供できるように努めております。ここ最近の食材価格や人件費の高騰を受け、やむを得ず一部価格への転嫁をさせていただいておりますが、学生の皆様に気軽に学生食堂をご利用いただけるよう、引き続き学食運営事業者と交渉を重ねながら、価格やボリュームの見直しを図っていきます。	食堂では、価格とボリュームの最適化を図りつつ、営業時間変更検討など利便性向上を目指していきたいと考えています。その他、キャッシュレス決済の普及やキッチンカーの継続的な営業、食堂営業時間見直しなど、学生の声に応じた柔軟な対応が可能か検討し、学生の皆さんの満足度向上を図っていきたくと考えております。 スクールバスでは、混雑緩和や増便対応を利用状況を確認を考慮しながら継続的に検討し、安全な運行とマナー向上にも努めてまいります。
学生食堂の質・メニュー・サービス改善	味の改善、温かい提供、メニューの充実、持ち帰り対応、特盛や丼物の復活など多様な意見。	約25件	各キャンパスで学食運営事業者が異なるため、皆様からいただいたご意見・ご要望につきましては、それぞれの学食運営事業者と共有し、メニューの充実等、日々改善に努めてまいります。	
学生食堂の営業時間・混雑・スペース	昼時の混雑、営業時間が授業と合わない、席不足、スペース拡大希望など。	約15件	営業時間については、利用実態を踏まえながら営業時間の変更を検討していきます。また、キャンパス内に軽食等の無人販売機を設置するなど、学生の皆様が学食営業時間外でも食事が食べられるように検討してまいります。	
スクールバスの本数・混雑改善	本数増加、帰宅時・休日運行希望、終バスの時間延長、激混みなどの改善要望。	約12件	現在、学園が保有するスクールバスを全台活用し、運行を行っております。また、朝の通学時間帯は非常に混雑している状況のため、スクールバス以外にも外部観光バス事業者へ運行依頼し、運行本数の増加を図っております。今後も利用状況に応じてスクールバスの台数追加など、少しでも快適にご利用いただけるよう対応を検討してまいります。	
スクールバスの高校生との分離・マナー	中高生との同乗によるマナー悪化への不満、大学生と分けて運行してほしいとの声。	約6件	スクールバス乗客のマナーが目に見えるような場合は、運転手から可能な範囲で注意してもらうように指示しております。ただし、安全を最優先としているため、走行中のアナウンスについては行わないようにしていますので、その点はご理解のほどよろしくお願いいたします。	
ひなたやまキャンパスバス整備	町田～ひなたやま直通バスの運行、交通費補助などアクセス面の支援要望。	約5件	東京ひなたやまキャンパスにもスクールバスを運行させる検討をいたしましたが、バス事業者や町田市との協議の結果、本学の事情による新たなバスルートの設置は認められず、バス事業者による既存の路線バスの便数を増やすことで対応することとなりました。東京ひなたやまキャンパスへのアクセスについて多くのご意見やご要望をいただいていることから、利用実態などを踏まえながら、路線バスの運行ダイヤや便数の見直しをバス事業者に要望するなどの対応を検討してまいります。	
食堂の支払い・設備面の改善	券売機の読み取り不良、キャッシュレス未対応、電子マネー対応要望など。	約3件	2025年5月1日より町田キャンパスにおいて、食堂券売機のキャッシュレス決済が可能となりました。また、他キャンパスの券売機におきましても交通系 ICカード等での支払いが可能な券売機となっているためキャッシュレス決済が可能となっております。	
その他(コンビニ・購買・桜カフェ等)	キッチンカーや購買・桜カフェなどの営業時間改善やコンビニ拡大の意見。	約3件	各キャンパスの事情に合わせてキッチンカーを導入するなど、学生の皆様への食事提供環境の整備に努めております。桜カフェの営業時間につきましては 2025年度秋学期からの営業時間変更検討を現在行っております。	

情報システム部向けの意見 /回答①

情報システム部に寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	情報システム部回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
OBICON(出席確認システム)の不具合と操作性の不満	OBICONが反応しない・感知しにくい、バッテリー消費が大きいなどの声	約135件	OBICONについて多くの貴重なご意見をいただきありがとうございます。 2024年度のバージョンアップで授業アクションでの教室検知精度を改善しましたが、依然として一定の条件や機種によって反応しづらいケースがあることを認識しております。 ご指摘いただいた教室や建物のビーコン電波状況の再確認、端末機種依存の問題の情報収集を実施し、対策できることがないか再検討します。また、授業アクションでの登録ができない場合に教員に申し出て出席登録する対応についても、「授業後に申し出に行く」と次の授業に遅れる」、「申し出しなければならない点がストレス」などのご意見をいただきました。 OBICON導入当初から、ビーコン電波を利用した出席管理施策は利便性や費用面でメリットがある一方で、教室や端末など様々な状況があり得るため常に 100%にはなり得ず、正しく登録できない場合には教員による手動登録で補完するという方針でした。 しかし、運用が普及するにつれてさらにスムーズな運用を実現するうえで、この前提にも課題があることを認識しました。今後は、運用主体となる教務や教育組織とも連携して改善できることがないか検討してまいります。 当面は引き続き、出席操作後に「出席しました」という表示を必ずその場で確認し、うまくいかない場合は授業終了後など授業に出席していることが分かる状態で教員に申し出てください(「出席しました」の表示イメージについてはこちらのリンクをご確認ください。「授業アクション」「パスワード出席」。何度試しても「出席しました」と表示されない場合は、システムに登録されていないので教員への申し出が必要です。なお、教員によっては出席操作以外の確認を含めて出席と判定する場合もありますので、最終的な結果は翌日以降で e-Campusでの確認することになります。)。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。	情報システム部では情報環境・ネットワーク環境の活用を通して、みなさんの学習や大学生活の質の向上に貢献することと、費用や無駄を省いて最適に情報環境のコストを最適に配分すること、セキュリティ侵害など情報環境を利用するうえでのリスクを適切にマネジメントすることをミッションとし、各システムの運用主管となる教育組織や教務課・学生課など関係する部署と協同で業務を行っています。利便性とリスク(例えば費用やセキュリティなど)はトレードオフの関係にあることも多く、最適なバランスを模索していくことが重要です。 今回いただいたみなさんからの貴重なご意見は、そのための重要な判断基準のひとつとなります。ご意見を参考に今後も分かりやすく使いやすい情報環境の整備を目標に努めてまいります。
Wi-Fiの接続不良	授業中やキャンパスの一部で Wi-Fiがつながりにくく、支障が出るという声	約110件	授業開始時間など一斉にアクセスが集中する時間帯は、システムに大きな負荷がかかり、一時的に繋がりにくくなることもあり、ご迷惑をおかけしております。 学内Wi-Fi環境については、アクセスポイントの増設、帯域の強化など段階的に改善を進めておりますが、いただいたご意見を参考に、今後も継続的な環境整備、改善に努めてまいります。 なお、時間を置いて接続しても特定の場所かつ頻繁に Wi-Fiにアクセスしにくいと感じる場合は、詳細な状況(場所、日時、使用しているデバイスなど)を添えて、 info-sci@obirin.ac.jp までご連絡ください。状況を確認し、改善に努めます。 また、明々館地下での電波微弱については、接続先が学内 Wi-Fiではなく通信キャリアとなっているケースがこれまでも見受けられましたので、まずは学内 Wi-Fiに接続されているかご確認ください。	
学内システム・アプリの使い勝手改善	e-campusやMoodleの操作性、戻るボタンでログアウトされる、UIが不親切など	約90件	e-Campusではデータ保護の観点から、ブラウザの「戻る」ボタンの使用には制限がされております。お手数ではありますが、e-Campus内のページ遷移は e-Campus上の機能メニューからご利用ください。 Moodle上の情報が見づらいというご意見も多くいただきました。学生の皆さんにとって各情報が見やすく、かつ、辿り着きやすい構成となるよう、掲載元の組織と連携しながら引き続き整備してまいります。また、各システム(Moodle、OBICON、e-Campus)については、UI/UX(ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンス)の改善を行います。特に、新入生が情報を見つけやすいよう、チュートリアル動画やガイドブックの充実を図りつつ、 AIを活用した情報検索ツールの導入も視野に入れ、学生の皆さんが必要な情報にストレスなくアクセスできる環境を整備してまいります。	
PC貸出・設置端末数の不足	ノートPCの貸し出しが足りない、ホームページの記載と違うなど	約25件	ネットワーク利用ガイドに合わせて台数を増やすよう整備いたします。	

情報システム部向けの意見 /回答②

情報システム部に寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	情報システム部回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
履修登録や学事歴システムへの不満	履修システムの柔軟性の無さや学事歴が見づらいとの声	約20件	学事暦で授業を実施する日程は各キャンパス毎に異なりますが、自身が主に通学するキャンパスの日程のみを分かりやすく確認できるようにするため、2025年度からは e-Campus のスケジュールに登録しております。今回、見づらいというご意見を複数いただきましたので、学生の皆さんにとってより分かりやすい公開方法になるよう引き続き努めてまいります。履修登録の柔軟性に関していただいたご意見については、関係部署に共有し、必要な対応の検討をしてまいります。	情報システム部では情報環境・ネットワーク環境の活用を通して、みなさんの学習や大学生活の質の向上に貢献することと、費用や無駄を省いて最適に情報環境のコストを最適に配分すること、セキュリティ侵害など情報環境を利用するうえでのリスクを適切にマネジメントすることをミッションとし、各システムの運用主管となる教育組織や教務課・学生課など関係する部署と協同で業務を行っています。利便性とリスク(例えば費用やセキュリティなど)はトレードオフの関係にあることも多く、最適なバランスを模索していくことが重要です。 今回いただいたみなさんからの貴重なご意見は、そのための重要な判断基準のひとつとなります。ご意見を参考に今後も分かりやすく使いやすい情報環境の整備を目標に努めてまいります。
複数システムの混在への混乱	e-campusとMoodleの併用での混乱、用途の違いが分かりづらい	約20件	e-CampusとMoodleにおいて似た機能があるため、分かりづらいというご指摘をいただきました。e-Campusは履修登録や時間割管理、各種手続きなど大学で授業を受けるために必要な情報の処理を、Moodleは教員と授業担当教員との授業に関する処理を主に担っています。ただご指摘の通り、授業の課題や大学からの掲示や通知はどちらのシステムにも機能があるため、一見して分かりづらい状況となっていると認識しています。それぞれのシステムにメリットがあるほか、サーバ障害時に全面停止のリスクを分散できる面もあるため、完全に統一することには困難な面もありますが、特に共通している課題や掲示の機能の分かりやすさの向上に向けての対策を検討してまいります。	
桜美林認証の使いづらさ	毎回ログインが必要、スマホだと不便などの意見	約18件	特に最近になって桜美林認証で ID・パスワードの毎回入力を求められるようになったというご指摘をいただきました。ご指摘いただいた中で OBICON から Gmail への連携時に事象が発生することを確認しました。対策できることがないか検討します。また 2024 年春の OBICON バージョンアップ時に、iPhone/iPad 利用時に ID・パスワードの自動補完が無効になった事象を確認しております。本件は OBICON 再インストールで解決する場合がありますのでお試しください。 e-Campus 掲示「(iPhone 利用者向け) OBICON メニューから桜美林認証のログイン画面で ID・パスワードが初期化されてしまう事象について」を再掲しましたのでこちらもご確認ください。もし上記に該当するケース以外でお困りの場合は詳細の情報を引き続き提供いただけますと幸いです。ご協力よろしくお願いします。【ご参考】 OBICON メニューから他システムへの遷移時に ID・パスワードの自動補完する機能は iPhone/iPad と Android で仕組みが異なります。これは OS の制限によるもので、iPhone/iPad は OBICON 側で補完機能を実装している一方で、Android ではブラウザの保存機能をご自身で活用いただくことになります。	
ネットワークの接続安定性改善希望	校内の回線速度が遅い、繋がらない場所があるという意見	約14件	「Wi-Fiの接続不良」の回答をご参照ください。	
説明不足・サポート体制への不満	システムやツールの説明が少なく、学生視点で考えられていないとの指摘	約12件	システムやツールの使い方は各システムに掲載しているガイドを参照してください。ガイドの内容は適宜見直し、分かりやすくするため改善してまいります。	
オンライン証明書発行の使いづらさ	オンライン証明書よりも発行機の方が便利だったという声	約10件	2024年12月から、証明書発行が学内設置の発行機からコンビニ発行・オンライン発行サービスに変わった点について、手順が増えて手間が増えたというご意見をいただきました。これまで発行機がなかったキャンパスの課題や、発行可能な時間帯の拡大など利便性の向上を目指して対応した施策ですが、特定の状況においては逆に手間が増えてしまったというご指摘かと思います。真摯に受け止めたいと思います。一方で例えば新サービスでは受け取り方法や支払方法に複数の選択肢があります。例えばコンビニ受け取りに負担を感じる場合は、オンライン証明書を利用するなど、ご自身にあった選択肢がないかもご確認ください。	

図書館メディアセンター向けの意見 / 回答①

図書館メディアセンターに寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	図書館メディアセンター回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
設備の老朽化・リニューアル希望	図書館の老朽化に伴い、施設の改修や近代的なリニューアルを希望する声が多い	約45件	学生の皆さんにとって、快適かつ機能的な図書館環境提供の重要性を強く認識しております。しかしながら、町田キャンパスの図書館本館は築 50年以上が経過しており、現行の施設には設計および構造上の大きな制約があることから、課題の解決には大規模な改築が必要となるため、現時点での対応は困難な状況です。可能な範囲での改善（例えば、什器の更新、一部エリアのレイアウト調整など）については、継続的に検討・実施してまいります。今後、長期的な施設整備計画を検討する際には、いただいたご意見を真摯に受け止め、快適かつ機能的な図書館の環境整備に活かしてまいります。	桜美林大学図書館では、学生の皆さんにとって学びやすい図書館環境の整備を大切にしながら、日々、サービスの向上と利用環境の改善に取り組んでおります。 町田キャンパス図書館本館(三到図書館)は長い年月を経た建物であるため、抜本的な建て替えを伴わなければ解決が難しい課題が多いのが現状です。しかしながら、町田キャンパスの図書館本館も含めた全キャンパスの図書館機能を持つ施設に関して、什器の更新やレイアウトの見直しなど、可能なところから改善を進めます。 皆さまからお寄せいただいたご意見は、今後の図書館の環境整備を進めていくうえでの重要な道しるべです。引き続き、皆様のご意見を反映した図書館運営を目指します。
自習環境の改善・個別ブース	個人ブースや仕切り、自習スペースの拡充を求める声が目立つ	約40件	現在、町田キャンパスの図書館本館では 1Fと5Fの閲覧席の大半に仕切りのある個人ブースを設けており、合計 123席をご利用いただけます。今後も、町田以外のキャンパスにおいても、学生の皆さんの学習スタイルに合わせた空間づくりに引き続き取り組み、より快適な図書館の環境整備を目指してまいります。	
蔵書・本の種類の拡充	就活本・小説・外国語・雑誌などの蔵書を増やしてほしい	約38件	本学図書館では学修に必要な専門資料を優先的に収集しています。しかしながら、学生の皆さんの多方面にわたる情報収集ニーズに対応する蔵書の充実、図書館の役割の一つでもあると考えております。 図書館では、学生の皆さんの学修・研究活動を支援するために、資料購入の希望を受け付ける「購入希望」の制度を導入しています。桜美林大学図書館に所蔵のない資料で必要とされるものがありましたら、ぜひ本サービスの活用をご検討ください。	
電子機能・検索・予約システムの利便性向上	検索やOPAC、蔵書の位置把握、予約・延長機能の強化を希望する声がある	約35件	図書館が提供している各種情報源へのアクセスのしやすさや、UI(ユーザー・インターフェイス)の改善は重要な課題であると認識しております。 図書館では現在、検索機能強化の課題を解決するため、ディスカバリサービスの導入を検討しています。これは本学図書館が契約している各種電子リソースをまとめて検索することが可能となるサービスです。 また、図書館資料の予約・延長手続きは、「マイライブラリ」より手続き可能です。来館せずとも操作可能ですので、ご活用ください。	
静かさ・集中環境の維持改善	静かに勉強したいがうるさい、集中できないなど環境面の改善を求める意見	約30件	図書館では、図書館スタッフや警備スタッフが定期的に巡回しております。例として町田キャンパスの図書館本館では、携帯電話で通話する利用者を見かけた際は、館内での通話可能エリアとして大階段の踊り場を案内しております。また、同じく本館の 3階にあるラーニングコモンズは、グループ学習や討論会など、さまざまな学習形態で活用できるエリアとなっております。より静穏な環境での学修・研究活動をされたい場合には、1階と5階にある閲覧席の利用もご検討ください。周囲の騒音などでお困りのことがございましたら、図書館スタッフまでお申し出ください。	
国際・芸術・専門分野の拡充要望	芸術分野や国際・理系分野、専門書の偏りは正を求める意見がある	約28件	図書館では、授業で使用される参考書や、学生の皆さんに積極的に活用していただきたい専門資料について、教員による選書を核として専門的な視点から選定を行っています。今後も、教員との連携や学生の皆さんからのご意見を踏まえながら、学内の多様な関心や学びの深化に応える蔵書構築を進めてまいります。図書館では、皆さんの学修・研究活動を支援するために、資料購入の希望を受け付ける「購入希望」の制度を導入しています。桜美林大学図書館に所蔵のない資料で必要とされるものがありましたら、ぜひ本サービスの活用をご検討ください。	

図書館メディアセンター向けの意見 / 回答②

図書館メディアセンターに寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	図書館メディアセンター回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
利便性・導線の改善(階段・狭さ等)	通路が狭い、階段しかないなど動線やアクセス性への不満がある	約25件	館内の移動のしやすさやバリアフリー環境の整備は、誰にとっても快適に図書館をご利用いただく上で大切であると認識しております。しかしながら、町田キャンパスの図書館本館に関しましては、抜本的な改築を伴わない限り大幅な改善が困難であるのが現状です。可能な範囲での改善や工夫については、引き続き検討を重ねてまいります。将来的な施設改築の際には今回いただいたご意見も参考とさせていただきます、より利用しやすい図書館の環境整備に努めてまいります。	桜美林大学図書館では、学生の皆さんにとって学びやすい図書館環境の整備を大切にしながら、日々、サービスの向上と利用環境の改善に取り組んでおります。 町田キャンパス図書館本館(三到図書館)は長い年月を経た建物であるため、抜本的な建て替えを伴わなければ解決が難しい課題が多いのが現状です。しかしながら、町田キャンパスの図書館本館も含めた全キャンパスの図書館機能を持つ施設に関して、什器の更新やレイアウトの見直しなど、可能なところから改善を進めます。 皆さまからお寄せいただいたご意見は、今後の図書館の環境整備を進めていくうえでの重要な道しるべです。引き続き、皆さんのご意見を反映した図書館運営を目指します。
プリント・コピー・充電環境	プリンターの用紙対応、カラープリント、充電スペース不足などの意見がある	約22件	利便性向上の重要性に関しては、十分認識しております。しかしながら、機器導入に関わるコスト面等の制約により、すぐにご要望にお応えすることが難しい状況です。今後の施設整備や運営見直しの機会において、いただいたご意見を参考資料とし、改善の可能性を引き続き検討してまいります。	
飲食・休憩スペースの整備希望	飲食や休憩スペースの整備を求める声、カフェ併設などへの要望もあり	約20件	図書館における学修・研究活動の合間に休息をとることのできる空間の整備は、図書館としても必要性を認識しております。町田キャンパスの図書館本館に関しては、図書館出入口と入館ゲートの間に、小規模ながら飲食可能な休憩コーナーを設けております。しかしながら、図書館本館は現在の構造上の制約から、これ以上の拡張や、カフェ等の新設を実現することは難しい状況です。限られた環境の中ではございますが、学生の皆さんにとってできる限り快適にご利用いただけるよう、既存コーナーの維持管理や衛生環境の整備には引き続き努めてまいります。	
図書館利用に関する満足・好意的意見	綺麗・静か・検索しやすい・サービスが丁寧などポジティブな意見が多く寄せられた	約18件	学生の皆さんから「図書館が綺麗で静か」「資料の検索がしやすい」「スタッフの対応が丁寧で親切」といった、大変嬉しいご意見を多くお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。これらの声は職員一同にとって大きな励みとなっており、今後も学生の皆さんにとって快適にご利用いただける図書館づくりを目指して、日々の業務に一層精進してまいります。今後ともより良いサービス提供に努めてまいりますので、引き続きご利用いただけますと幸いです。お気づきの点やご要望がございましたら、どうぞお気軽にお知らせください。	

経理部向けの意見 / 回答

経理部に寄せられた代表的な意見	具体的内容	類似意見の件数	経理部回答	今回の学生の意見を元にした今後の展望
学費が高い・学費への不満	学費が高いという声が多く。「学費を安くしてほしい」「学費の使い道を公開してほしい」「運営への不信感がある」との指摘もあり。	約10件	学生の皆さまが安心して学び、成長できる環境を提供するために、教育の質の向上、施設の整備、サポート体制の充実など、取り組んでおります。また、経済的な負担を軽減するための奨学金制度や分納制度を整えています。学生皆様の声を真摯に受け止め、よりよい学園作りに努めてまいります。	教育の質の向上、経済支援の拡充等を行うことで、「学費は高い」ではなく「高い価値」があると実感してもらえるような学園運営を目指してまいります。